

2021（令和3）年度  
**事業報告書**

2021

# 目次

## P.1～2

教学マネジメント体制の確立

～内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制～

## P.3～8

第一 法人の概要

1. 基本情報
2. 建学の精神
3. 学校法人の沿革
4. 設置する学校・学部・学科等
5. 学校・学部・学科等の学生数の状況
6. 収容定員充足率
7. 役員の概要
8. 評議員の概要
9. 教職員の概要
10. その他

## P.9～51

第二 事業の概要

1. 主な教育・研究の概要
2. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

## P.52～58

第三 財務の概要

1. 決算の概要
2. その他
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

CONTENTS

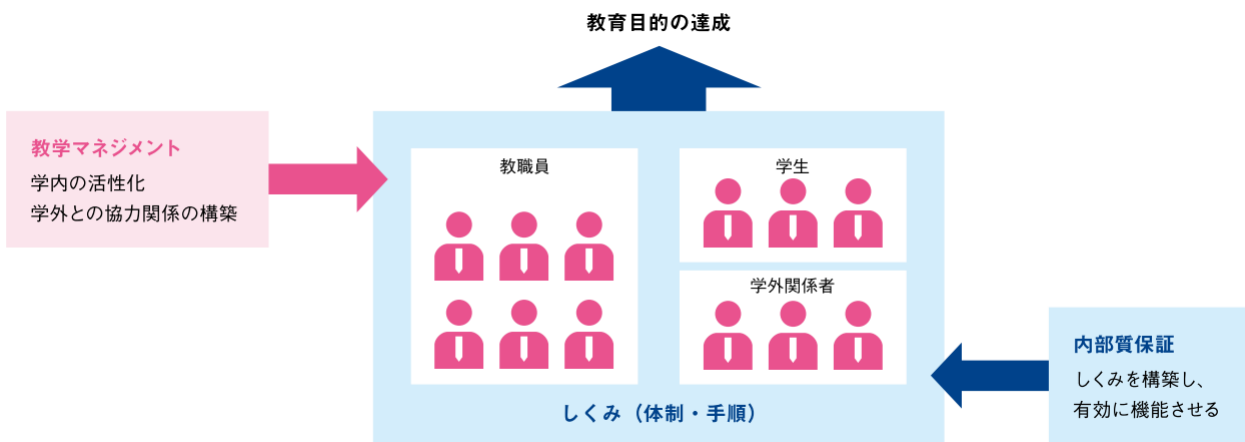
# 教学マネジメント体制の確立

～内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制～

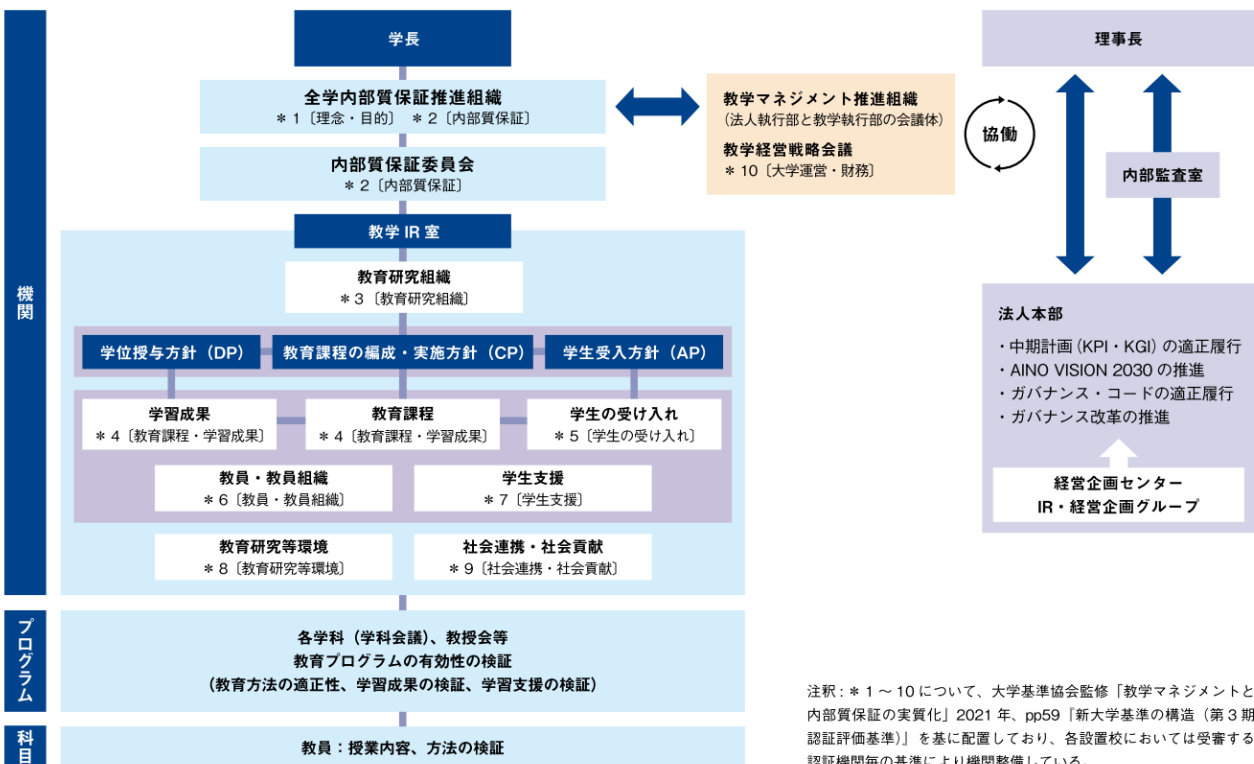
## 教学マネジメント体制の確立

### ～内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制～

学校法人藍野大学は、建学の精神、教育理念、ミッションステートメントを実現していくために、教育、研究、社会貢献、管理運営・財務の諸活動について、中長期計画をもとに学校法人のガバナンス改革を含むPDCAサイクルを機能させ、持続可能な質的水準の向上と内部質保証の実質化を推進するべく「内部質保証・教学マネジメント推進体制」を2022年1月に再編し、同年4月より実装させています。



### 学校法人藍野大学設置校における内部質保証・教学マネジメント推進体制 概念図



# 教学マネジメント体制の確立

～ 内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制～

## 「教学マネジメント指針」概要

予測困難な時代を生き抜く自律的な学修者を育成するためには、学修者本位の教育への転換が必要。  
そのためには、教育組織としての大学が教学マネジメントという考え方を重視していく必要。

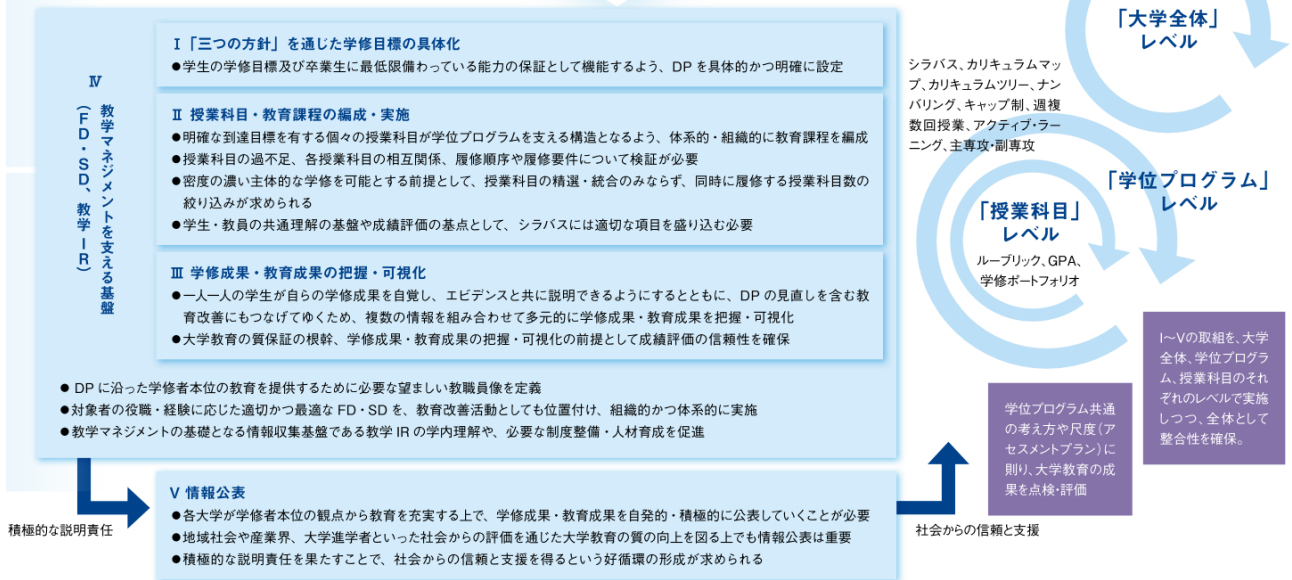
<b>教学マネジメントとは</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 大学がその教育目的を達成するために行う管理運営であり、大学の内部質保証の確立にも密接に関わる重要な営みである。</li><li>○ その確立に当たっては、教育活動に用いることができる学内の資源（人員や施設等）や学生の時間は有限であるという視点や、学修者本位の教育の実現のためには大学の時間構造を「供給者目線」から「学修者目線」へ転換するという視点が特に重視される。</li></ul>
<b>教学マネジメント指針とは</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 学修者本位の教育の実現を図るための教育改善に取り組みつつ、社会に対する説明責任を果たしていく大学運営すなわち教学マネジメントがシステムとして確立した大学運営の在り方を示す。</li><li>○ ただし、教学マネジメントは、各大学が自らの理念を踏まえ、その責任でそれぞれの実情に応じて構築すべきものであり、本指針は「マニュアル」ではない。</li><li>○ 教育改善の取組が十分な成果に結びついていない大学等に対し、質保証の観点から確実に実施されることが必要と考えられる取組等を分かりやすく示し、その取組を促進することを主眼に置く。</li><li>○ 本指針を参照することが最も強く望まれるのは、学長・副学長や学部長等である。また、実際に教育等に携わる教職員のほか、学生や学費負担者、入学希望者をはじめ、地域社会や産業界といった大学に関わる関係者にも理解されるよう作成されている。</li></ul>

出典：令和2年1月22日文科科学省 中央教育審議会 大学分科会「教学マネジメント」指針より

学長のリーダーシップの下、学位プログラム毎に、以下のような教学マネジメントを確立することが求められる。

### 三つの方針

「卒業認定・学位授与の方針」(DP)、「教育課程編成・実施の方針」(CP)、「入学者受入れの方針」(AP)  
教学マネジメントの確立に当たって最も重要なものであり、学修者本位の教育の質の向上を図るための出発点



# 第一 法人の概要

## 第一 法人の概要

### 1. 基本情報

- (1) 法人の名称 学校法人 藍野大学
- (2) 主たる事務所及び従たる事務所の住所、電話番号、FAX 番号、ホームページアドレス等
- ①法人事務局 大阪府茨木市高田町 1-22  
http://www.aino.ac.jp/ TEL.072-621-3764 / FAX.072-621-3756
  - ②藍野大学 大阪府茨木市東太田 4-5-4  
http://univ.aino.ac.jp/index2.php TEL.072-627-1711 / FAX.072-627-1753
  - ③びわこリハビリテーション専門職大学 滋賀県東近江市北坂町 967  
http://aino.ac.jp/professional/ TEL.0749-46-2311 / FAX.0749-46-2313
  - ④藍野大学短期大学部  
大阪茨木キャンパス 大阪府茨木市太田 3-9-25  
http://col.aino.ac.jp/index2.html TEL.072-626-2361 / FAX.072-621-1901  
大阪富田林キャンパス 大阪府富田林市青葉丘 11-1  
https://www.aino-jc.jp/otc/ TEL.072-366-1106 / FAX.072-366-1107
  - ⑤藍野高等学校 大阪府茨木市東太田 4-5-11  
http://high.aino.ac.jp/ TEL.072-627-1796 / FAX.072-627-1797
  - ⑥明浄学院高等学校（支援契約締結校） 大阪府大阪市阿倍野区文の里 3-15-7  
https://www.meijo.ed.jp/ TEL. 06-6623-0016 / FAX.06-6627-1165

### 2. 建学の精神

「愛智精神 [Philo-sophia] にもとづく人間教育」

この建学の精神にもとづき、人間愛と知性と情操を高め、継続的な自己研鑽を基礎に深い探究心をもった医療従事者の養成に努めています。

### 3. 学校法人の沿革

1968年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属准看護学院 指定
1975年4月1日	医療法人恒昭会 藍野病院附属高等看護学院 指定
1978年4月1日	医療法人附属を藍野看護専門学校に変更、藍野看護専門学校 看護専門課程・看護高等課程 設置
1979年9月1日	(準)学校法人藍野学院 創立、藍野看護専門学校 設置者変更
1983年3月31日	藍野看護専門学校を藍野医療技術専門学校に名称変更
1985年4月1日	藍野学院短期大学 開学
1986年3月31日	藍野医療技術専門学校看護高等課程准看護科 廃止
1988年3月31日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護科(2年課程) 廃止
1990年4月1日	藍野医療技術専門学校医療専門課程看護学科(2年課程定時制) 設置
1993年4月1日	藍野学院短期大学専攻科(地域看護学専攻) 設置
1993年4月1日	藍野医療技術専門学校看護学科2年課程 定時制から全日制へ変更
1994年4月1日	藍野医療技術専門学校医療秘書・病院管理学科を医療福祉ビジネス学科に名称変更
1996年4月1日	滋賀医療技術専門学校(看護学科、理学療法学科、作業療法学科) 開校
1996年4月1日	藍野医療技術専門学校名を藍野医療福祉専門学校に名称変更
1996年4月1日	藍野医療福祉専門学校介護福祉学科 設置

# 第一 法人の概要

1999年4月1日	藍野医療福祉専門学校医療福祉ビジネス学科 廃止
2001年7月9日	藍野短期大学に藍野加齢医学研究所を附置
2003年4月1日	藍野学院短期大学別科（留学生別科） 設置
2004年4月1日	藍野大学（看護学科、理学療法学科、作業療法学科） 開学
2007年4月1日	藍野学院短期大学看護学科を第一看護学科に名称変更
2007年4月1日	藍野学院短期大学第二看護学科（3年課程） 設置
2007年4月1日	藍野学院短期大学附属藍野高等学校（衛生看護科） 開校
2008年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 教職課程認定（高等学校教諭一種（看護）・養護教諭一種）
2010年4月1日	藍野大学医療保健学部臨床工学科 設置
2011年3月31日	藍野学院短期大学留学生別科 廃科
2012年3月31日	藍野医療福祉専門学校 廃止
2012年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科 3年次編入学定員変更（20名→5名）
2012年4月1日	滋賀医療技術専門学校理学療法学科 入学定員変更（40名→80名）
2012年4月1日	藍野学院短期大学を藍野大学短期大学部に、藍野学院短期大学附属藍野高等学校を藍野高等学校に名称変更
2013年4月1日	藍野大学短期大学部専攻科（地域看護学専攻）が、独立行政法人大学評価・学位授与機構の定める要件を満たす専攻科としての認定を受ける
2014年4月1日	藍野高等学校衛生看護科 入学定員変更（80名→100名）
2015年4月1日	藍野大学大学院看護学研究科 設置
2016年4月1日	藍野大学再生医療研究所を藍野大学中央研究施設に改組
2017年4月3日	株式会社藍野大学事業部（学校法人100%出資会社） 設立
2017年9月15日	学校法人藍野学院を学校法人藍野大学に名称変更
2018年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科入学定員変更（80名→90名）、3年次編入学定員（5名→2名）
2018年4月1日	キャリア開発・研究センターを藍野大学の附置機関とする
2018年9月1日	メディカル・ヘルスイノベーション研究所を藍野大学短期大学部の附置機関とする
2019年3月4日	滋賀医療技術専門学校 募集停止（2019年度生からの募集を中止）
2020年4月1日	びわこリハビリテーション専門職大学 開学
2020年4月1日	藍野大学医療保健学部看護学科入学定員変更（90名→115名）、理学療法学科入学定員変更（80名→90名）
2020年4月1日	藍野高等学校衛生看護科 入学定員変更（100名→120名）
2020年4月1日	藍野高等学校衛生看護科にメディカルサイエンスコースを開設
2020年4月1日	メディカル・ヘルスイノベーション研究所に「あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーション」を開設
2020年8月20日	学校法人明浄学院が運営する明浄学院高等学校を支援すべく支援契約を締結
2021年3月31日	滋賀医療技術専門学校 廃止
2022年4月1日	明浄学院高等学校を学校法人明浄学院から学校法人藍野大学の設置校へ変更

## 4. 設置する学校・学部・学科等

学校	学部（研究科）	学科
藍野大学大学院	看護学研究科	—
藍野大学	医療保健学部	看護学科・理学療法学科・作業療法学科・臨床工学科
びわこリハビリテーション専門職大学	リハビリテーション学部	理学療法学科・作業療法学科
藍野大学短期大学部	—	第一看護学科・専攻科・第二看護学科
藍野高等学校	—	衛生看護科

## 5. 学校・学部・学科等の学生数の状況（2021年5月1日現在）

学校種・学部	学 科	入学定員	入学者数	編入学定員	収容定員	現員数
藍野大学大学院	看護学研究科	6	4	—	12	12
藍野大学 医療保健学部	看護学科	115	128	2	414	442
	理学療法学科	100	120	—	360	410
	作業療法学科	40	37	—	160	175
	臨床工学科	40	54	—	160	168
	計	295	339	2	1,094	1,195
びわこリハビリ	理学療法学科	80	89	—	160	132

# 第一 法人の概要

テーション 専門職大学 リハビリテーシ ョン学部	作業療法学科	40	37	—	80	51
	計	120	126	—	240	183
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	100	140	—	200	233
	専攻科	40	40	—	40	40
	第二看護学科	80	100	—	240	283
	計	220	280	—	480	556
藍野高等学校	衛生看護科	120	133	—	340	334
合計		761	882	2	2,166	2,280

## 6. 収容定員充足率（毎年度5月1日現在）

学校種・学部	学科	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
藍野大学大学院	看護学研究科	1.17	1.17	1.00	1.08	1.00
藍野大学 医療保健学部	看護学科	1.26	1.20	1.17	1.08	1.07
	理学療法学科	1.19	1.18	1.12	1.13	1.14
	作業療法学科	1.21	1.12	1.13	1.18	1.09
	臨床工学科	1.17	1.06	1.03	1.01	1.05
	計	1.21	1.16	1.12	1.10	1.09
びわこリハビリ テーション 専門職大学 リハビリテーシ ョン学部	理学療法学科	—	—	—	0.55	0.83
	作業療法学科	—	—	—	0.35	0.64
	計	—	—	—	0.48	0.76
藍野大学 短期大学部	第一看護学科	1.13	1.13	1.05	0.96	1.17
	専攻科	1.00	1.03	1.00	1.00	1.00
	第二看護学科	1.25	1.23	1.19	1.16	1.18
	計	1.18	1.17	1.12	1.06	1.16
藍野高等学校	衛生看護科	0.90	0.96	1.04	1.03	0.98
合計		1.07	1.05	1.06	1.02	1.05

## 7. 役員の概要（2021年5月1日現在）

役員・評議員の定員数、氏名、就任年月日、常勤・非常勤の別、業務執行・非業務執行の別、主な現職等

職名	定数	現員	氏名	就任年月日 (重任年月日)	常勤・ 非常勤	業務執行・ 非業務執行	主な現職等	
理事	第1号	1人	菅田勝也	2018年4月1日	常勤	業務執行	学校法人藍野大学 総務担当常務理事 藍野大学 学長	
	第2号	1人	山川正信	2020年4月1日	常勤	業務執行	びわこリハビリテーション専門職大学 学長	
	第3号	1人	佐々木恵雲	2014年4月1日 (2020年4月1日)	常勤	業務執行	学校法人藍野大学 一貫教育担当常務理事 藍野大学短期大学部 学長	
	第4号	1人	志熊博忠	2021年4月1日	常勤	業務執行	藍野高等学校 校長	
	第5号	4人以上 6人以内	4人	小山英夫	2000年11月6日 (2021年4月1日)	常勤	業務執行	学校法人藍野大学 理事長
				鷺見光博	2016年11月28日 (2019年11月28日)	常勤	業務執行	学校法人藍野大学 財務担当常務理事
山本嘉人				2014年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	業務執行	学校法人藍野大学 副理事長 びわこリハビリテーション専門職大学 学長補佐	
清水達郎				2020年4月1日	非常勤	業務執行	東洋興産株式会社 代表取締役	
第6号	1人	1人	岡山栄雄	2011年7月26日 (2021年4月1日)	非常勤	業務執行	中央総合会計事務所所長 税理士	



# 第一 法人の概要

監事	2人	2人	中務未樹	2015年4月1日 (2021年4月1日)	非常勤	—	ブランシュ法律事務所 代表弁護士
			堀江亮司	2015年4月1日 (2021年4月1日)	非常勤	—	堀江公認会計士・税理士事務所 公認会計士・税理士

2021年度において、本法人は4月1日から10月31日までの間は補償契約を、11月1日から3月31日までの間は役員賠償責任保険契約を締結しました。2021年度においては、補償契約、役員賠償責任保険契約の適用対象となり得る事案は発生しておりません。なお、本法人は2021年度においては、どの役員とも責任限定契約は締結していません。

## 【補償契約の概要】

対象者：契約期間に在任していた役員

補償内容の詳細：

- (1) 役員が、その職務の執行に関し、法令の規定に違反したことが疑われ、又は責任の追及に係る請求を受けたことに対処するために支出する費用の全額
- (2) 役員が、その職務の執行に関し、第三者に生じた損害を賠償する責任を負う場合における次に掲げる損失
  - ① 当該損害を乙が賠償することにより生ずる損失の全額
  - ② 当該損害の賠償に関する紛争について当事者間に和解が成立したときは、乙が当該和解に基づく金銭を支払うことにより生ずる損失の全額

## 【役員賠償責任保険契約の概要】

保険会社等：日本私立大学協会（団体契約者）、東京海上日動火災保険株式会社（引受保険会社）

被保険者：契約期間に在任していた役員及び評議員並びに本法人

保険料：224,170円、支払限度額：2,000,000千円

支払対象とならない主な場合：法律違反に起因する対象事由等

補償内容の詳細

- (1) 役員（個人被保険者）に関する補償：法律上の損害賠償金、争訟費用等
- (2) 記名法人に関する補償：法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等

## 8. 評議員の概要（2021年5月1日現在）

評議員の定員数、氏名、就任年月日、主な現職等

職名	定数	現員	氏名	就任年月日 (重任年月日)	常勤・非常勤	主な現職等	
評議員	第1号	1人	1人	菅田勝也	2012年4月1日 (2018年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 総務担当常務理事 藍野大学 学長
	第2号	1人	1人	山川正信	2020年4月1日	常勤	びわこリハビリテーション専門職大学 学長
	第3号	1人	1人	佐々木恵雲	2014年4月1日 (2020年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 一貫教育担当常務理事 藍野大学短期大学部 学長
	第4号	1人	1人	志熊博忠	2021年4月1日	常勤	藍野高等学校 校長
	第5号	3人以上 4人以内	4人	波多野浩道	2017年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部 学部長 藍野大学医療保健学部臨床工学科 学科長
				後藤昌弘	2017年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部理学療法学科 学科長
酒井浩				2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部作業療法学科 学科長	
第6号	2人	2人	井出千束	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部作業療法学科 学科長	
			信岡研身	2012年4月1日	非常勤	医療法人恒昭会藍野病院 看護部長	



# 第一 法人の概要

第7号	10人以上 13人以内	12人		(2021年4月1日)		
			本多容子	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学医療保健学部看護学科 学科長
			大村卓司	2015年4月1日 (2021年4月1日)	非常勤	茨木市議会議員
			小山英夫	1996年5月30日 (2021年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 理事長
			菅本一臣	2021年4月1日	非常勤	大阪大学大学院 運動器バイオマテリアル 寄附講座 寄附講座教授
			岡山栄雄	2011年7月26日 (2021年4月1日)	非常勤	中央総合会計事務所所長 税理士
			鷺見光博	2016年11月28日 (2019年11月28日)	常勤	学校法人藍野大学 財務担当常務理事
			山本嘉人	2014年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 副理事長 びわこリハビリテーション専門職大学 学 長補佐
			青山弘義	2012年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学短期大学部第一看護学科 特任教 授
			飯田英晴	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学短期大学部 副学長
			足利学	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学短期大学部第一看護学科 学科長
			河合まゆみ	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	藍野大学短期大学部第二看護学科 学科長
			小林正明	2018年4月1日 (2021年4月1日)	常勤	学校法人藍野大学 法人事務局 事務局長
清水達郎	2020年4月1日	非常勤	東洋興産株式会社 代表取締役			

## 9. 教職員の概要（2021年5月1日現在）

### (1) 教職員数（派遣職員は除く）

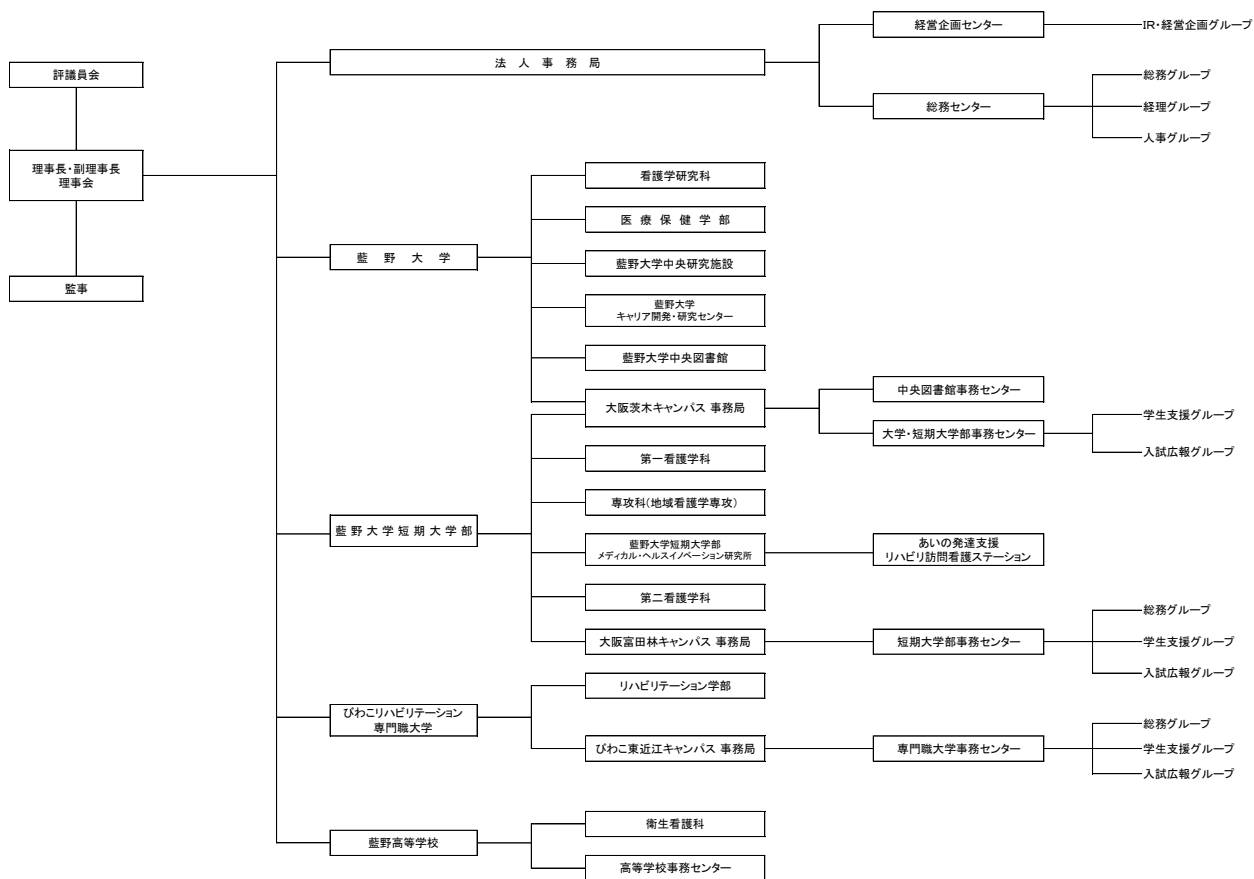
区分	法人事務局	藍野大学	びわこリハ ビリテーシ ョン専門職 大学	藍野大学短 期大学部	藍野高等学 校	計	
教員	本務	0	90	42	46	21	199
	兼務	0	71	15	55	23	164
職員	本務	20	24 (内、図書館1)	14	9	5 (内、寮母1)	72
	兼務	2	4	7	1	1	15
計	本務	20	114	56	55	26	271
	兼務	2	75	22	56	24	179

### (2) 平均年齢

区分	法人事務局	藍野大学	びわこリハ ビリテーシ ョン専門職 大学	藍野大学短 期大学部	藍野高等学 校	計	
教員	本務	—	49.3	51.9	52.7	43.3	50.0
職員	本務	39.6	40.2	37.8	45.8	42.4	40.4

# 第一 法人の概要

## 10. その他 系列校の状況 (2021年5月1日現在)



# 第二 事業の概要 (3つのポリシー)

## 第二 事業の概要

本法人では、高等教育機関全体として、18歳人口の減少に伴う規模の縮小や学校経営上の困難といった厳しい事態が生じていることに危機感を持ちつつも、生涯学習ニーズの高まりにより従来型の学生像にとらわれず、社会人学生等幅広い年齢層の積極的な受け入れも視野に入れ、高等教育に対する新しい需要に対応できる学校運営を目指しています。

特に本法人では、「Saluti et solatio aegrorum (病める人々を医やすばかりでなく慰めるために)」という心の通った医療サービスの提供を意味する教育理念のもと、ガバナンスの強化や規程の整備などの管理運営の改善はもちろんのこと、運営基盤の安定化に努めるとともに、現代社会が求める「地域に密着し、心の通った安心できる医療の提供」に応えることができる人材の育成及び教育研究活動を積極的に取り組んでおります。2021年度に取り組んだ主な事業について以下、報告します。

### 1. 主な教育・研究の概要

#### (1) 藍野大学の3つのポリシー

##### ①卒業の認定に関する方針

##### 【医療保健学部】

医療保健学部では、教育目標に照らし、学部および学科で定めた以下のような能力・資質を身につけることを、卒業認定、および、学士の学位授与の方針とする。各学科で定めた卒業要件単位の修得をもって、系統的な履修にもとづく学位授与方針の達成とみなす。

##### I. 知識

医療の基礎的知識に加えて、人や文化、社会情勢、科学技術、環境等に関する基本的な教養を習得している。

##### II. 技能

知識、技術、情報を活用、発信する実践力、コミュニケーション力を体得し、専門職者として科学的根拠に基づいた対応ができる。

##### III. 態度・姿勢

医療人および社会人として必要な倫理観、行動力を備え、生涯学び続けることで日進月歩の医療知識を職務に反映しようとする心構えができています。

##### IV. 協創

医療に関わる全ての人と、調和的、創造的な問題解決が遂行できる。

##### 【看護学科】

##### I. 知識

・医療人の基盤となる保健・医療・福祉に関する幅広い知識を備え、看護学を理解するために必須となる医学的知識ならびに看護実践に求められる看護の専門知識を習得している。

・国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢について学び、良き市民として生きるための豊かな教養として幅広い知識を習得している。

##### II. 技能

・看護実践能力を養うために必要となる論理的・批判的思考を基盤とした臨床的な推論、ならびにコミュニケーション能力やリスク管理能力を包括する看護の専門技能を習得している。

・信頼できる情報源から必要な情報を収集・分析・評価し、適切な解釈のもとで論理的・批判的思考を基盤としたアカデミックな議論ができる。

##### III. 態度・姿勢

・責任のある言動がとれるとともに、多様な個人の価値観に対応できる倫理観を持っている。

・新しい医療の発展に関心を持ち、研究・探求しようとする態度と、科学的根拠に基づいた思考をする姿勢を身につけ、新たな知識や技能を生涯学び続ける意志を持っている。

##### IV. 協創

・多職種を理解することで自身の専門性を知り、

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。

・看護分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

### 【理学療法学科】

#### I. 知識

・理学療法を実践するための専門的知識を習得している。

・新しい理学療法学を創造するための基盤となる幅広い科学的知識、人や文化、社会情勢などの知識を習得している。

#### II. 技能

・理学療法を実践するための専門的スキルを習得している。

・アカデミックなテーマを議論するための情報収集、分析、解釈ができ、科学的根拠に基づいて論理的に考える能力を習得している。また、職業生活、社会生活などで必要なコミュニケーション・情報リテラシー・論理的思考力、問題解決力を習得している。

#### III. 態度・姿勢

・理学療法士および社会人として必要な倫理観、行動力を備え、新たな知識や技能への関心と主体的に生涯学び続ける意思を持つことができる。

・科学的根拠に基づいて研究・探究しようとする態度を習得している。また、自律した学習者として自身の学習を振り返りながら、あらゆる問題に対して探究する態度を習得している。

#### IV. 協創

・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。

・理学療法分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探究ができる。

### 【作業療法学科】

#### I. 知識

・作業療法を理解・実践するため、専門的知識と医療・保健・福祉に関する幅広い知識を習得する。

・多様な文化・価値観を理解するため、幅広く豊かな教養を習得する。

#### II. 技能

・対象者への作業療法に必要な情報を選択・収集するとともに、適切な評価・再評価を行うことができ、その結果をもとに理論的な思考をもってアセスメントを組み立てて安全に治療を実践できる。

・望ましい人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を有し、科学的モデルを基盤とした論理的主張ができる。

#### III. 態度・姿勢

・対象者の立場や価値観を尊重した判断を行うとともに、知識や技術に関して最新の知識・技術を保ち、学術的研鑽および人格の陶冶を目指しながら作業療法に貢献ができる。

・科学と周辺領域の知識を更新し、常に最新の科学的根拠を使った論理的な視点から物事に対処することができる。

#### IV. 協創

・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。

・作業療法分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

### 【臨床工学科】

#### I. 知識

・医療人の基盤となる保健・医療・福祉・工学に関する幅広い知識を備え、臨床工学を理解するために必須となる医工学・情報学の知識と医療機器の操作・管理のための専門知識を習得している。

・国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢について学び、良き市民として生きるための豊かな教養として幅広い知識を習得している。

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

### II. 技能

・臨床工学技士業務を実践するための専門技能、医療事故を未然に防ぐためのリスク管理能力、患者や医療人と良好な関係を築くためのコミュニケーション能力を習得している。

・情報のリテラシーを身につけ、論理的思考と批判的思考を基盤にアカデミックなテーマについても、適切な情報収集により議論・実践でき、その成果をまとめて情報発信できる。

### III. 態度・姿勢

・医療の発展に対して常に関心を抱き、探究心を持って問題解決に挑む姿勢を持っている。

・現代の多様な社会における様々な価値観ならびに倫理観を身につけ、科学的な根拠に基づいて思考し責任のある言動がとれる。

### IV. 協創

・多職種を理解することで自身の専門性を知り、チームで協働的な問題解決を進める際にメンバー間で生じる葛藤を乗り越え、問題に対する解決策を考えることができる。

・臨床工学分野の発展に寄与するために、自身の問題意識からアカデミックな探求ができる。

## ②教育課程の編成及び実施に関する方針

### 【看護学科】

#### [編成方針]

看護学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

#### ア. 基礎科目

(ア) 国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢についての知識を得る科目を配置する。

(イ) 医療人の基盤となる幅広い科学知識を得る科目を配置する。

(ウ) 汎用的技能習得のため、フィールドワーク入門、情報科学Ⅰ、Ⅱなどの科目を配置

する。

#### イ. 専門基礎科目

(ア) 看護の対象である人間理解に関する知識を学ぶため、医療心理学や医療倫理学などの科目を配置する。

(イ) 健康や医療に関する知識を学ぶため、解剖生理学、病態学などの科目を配置する。

(ウ) 地域の看護や公衆衛生の知識を学ぶため、疫学や公衆衛生学などの科目を配置する。

(エ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。

#### ウ. 専門科目

(ア) 看護専門職の知識と技能を、基礎から応用の順次性、体系性に沿って習得するため、基礎看護学分野、専門看護学分野、統合看護学分野の科目を段階的に配置する。

(イ) 看護実践に必要な、看護の基本的知識と技能を習得するため基礎看護学分野の科目を配置する。

(ウ) 各年齢層、健康レベル、個人および集団の健康課題等に応じた看護の知識と技能を習得するため、専門看護学分野を配置する。

(エ) 看護専門職者として生涯にわたり継続して学び続け、看護学を論理的、実践的に理解し、質の高い看護を提供できるようになるため、統合看護学分野を配置する。

#### [実施方針]

教育課程の実施に当たっては、「看護学教育モデル・コア・カリキュラム」に示された看護実践能力と到達目標をベンチマークに進める。学習方法が身につけられるように、講義・演習ではアクティブラーニングを推進し、実習では「振り返りシート」等を活用した適切なフィードバックを行うことで、講義・演習の学びに統合させる。

#### [学習成果の評価方法]

(ア) アカデミックな知識や看護専門職の知識に対し、定期試験やレポートにより評価する。

## 第二 事業の概要 (3つのポリシー)

- (イ) 汎用的な技能や看護専門職の技能に対し、ルーブリックを活用した実技試験や提出課題、自己評価アンケート、卒業研究をもとに評価する。
- (ウ) 医療専門職に必要となる態度や姿勢について、関連科目でのレポートや、実習・演習での自己評価アンケート、授業アンケートをもとに評価する。
- (エ) チーム共同的な問題解決やアカデミックな探求について、シンメディカルⅠ～Ⅳや卒業研究などの科目でルーブリックや授業アンケートを活用した総合評価を行う。
- (オ) 各評価項目に対し、実習・演習や卒業研究において PEPA などの評価方法を活用する。

### 【理学療法学科】

#### [編成方針]

理学療法学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

#### ア. 基礎科目

- (ア) 良き市民として生きるため、また国内外の文化や思想、社会の仕組みや社会情勢についての知識を得るため、哲学入門、文化人類学、世界の保健医療などの科目を配置する。
- (イ) 新しい理学療法学を創造する基盤となる幅広い科学知識を習得するため、数学、物理学、再生医療入門などの科目を配置する。
- (ウ) 汎用的技能習得のため、学びの基盤、文章表現法、統計学、コミュニケーション論などの科目を配置する。

#### イ. 専門基礎科目

- (ア) 医療人として基盤となる保健・医療・福祉に関する幅広い知識を習得するため、社会保障論、社会福祉論などの科目を配当する。

- (イ) 理学療法の基盤となる知識を習得するため、生体構造論、生体機能論、運動学などの科目を配置する。

- (ウ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカルⅠ～Ⅳを配置する。

#### ウ. 専門科目

- (ア) 理学療法の実践に必要となる理学療法学の知識と技能を習得するため、理学療法学概論、理学療法評価学、運動療法学、運動器理学療法学、臨床推論などの科目を配置する。

- (イ) 理学療法学を実践的に学び、理学療法士としての態度や技能を習得するため、臨床実習を各学年に配置する。

- (ウ) 理学療法に関する学術的な問いについて研究し、またアカデミックスキルを習得するため、医療統計学、理学療法学研究法、卒業研究などを配置する。

#### [実施方針]

理学療法学プログラムは4年制で、基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3つの科目群から構成される。1年次に主に開講する基礎科目は、良き市民として生きるための教養と、医療専門職の基盤となる知識・態度の習得の涵養を重視する。2年次に主に開講する専門基礎科目は、基礎医学の知識と理学療法士としての思考と態度の涵養が中心である。3年次に主に開講する専門科目は、理学療法の治療学の習得と自己省察の期間で、治療学は講義と実習形式で開講する。4年次は、理学療法士としての臨床能力を総合的に育成する期間であり、臨床実習を中心に行う。

学生の興味・関心に合わせて、「国際医療研修」「住環境コーディネーター」などの選択科目も設定されている。また、1年次から4年次まで、4学科合同でシンメディカルⅠ～Ⅳを開講し、学内において協働的な問題解決能力、チーム医療を段階的に学ぶ。

#### [学習成果の評価方法]

- (ア) 理学療法士としての知識に対しては授業



## 第二 事業の概要 (3つのポリシー)

中やコースの終了時に試験またはレポートで評価を行う。

- (イ) 理学療法士としての基本的な技能については実技試験を行う。
- (ウ) 理学療法士として備えるべき倫理・態度については2年次と3年次で実施するOSCE-R(客観的臨床能力試験リフレクション法)の中で評価を行う。
- (エ) 理学療法士としての統合的な臨床能力は、学内におけるOSCE-R(PEPA)でルーブリックを使って評価を行う。また学外における臨床実習(PEPA)でも評価を行う。
- (オ) 理学療法士としてのプログラム全体での知識の習得については、国家資格試験で評価する。
- (カ) アカデミックな知識・技能、汎用的な技能については、理学療法学研究法、卒業研究で評価を行う。
- (キ) 協働的かつ創造的な問題解決能力については、シンメディカル科目の中でルーブリックを使って評価を行う。

### 【作業療法学科】

#### [編成方針]

作業療法学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の3区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

#### ア. 基礎科目

- (ア) 多様な文化・価値観を理解できる幅広い教養、語学、理系基礎を習得するための科目を配置する。
- (イ) 医療人として求められる基本的態度・倫理観を養い、読解・論理的思考・ライティング・表出などのコミュニケーション力を向上させる科目を配置する。

#### イ. 専門基礎科目

- (ア) 科学的推論過程を根拠とした作業療法の実践を行える能力を習得するための科目

を配置する。

- (イ) リハビリテーション理念や人体の構造・機能、心身の発達に関する基礎知識を習得するための科目を配置する。
- (ウ) 作業療法を実施する上で必要となる内科学、神経内科学、整形外科、精神医学、老年医学など幅広い疾患や障害に関する知識と技術を習得するための科目を配置する。
- (エ) 協働的な問題解決能力を習得するためにシンメディカルI~IVを配置する。

#### ウ. 専門科目

- (ア) 作業療法士に必要な専門的知識・技能を習得するため作業療法評価学総論、作業療法評価学演習、作業療法治療学総論、作業療法治療学演習、作業療法学総合演習などの科目を配置する。
- (イ) 作業療法実践の場において、対象者の人としての尊厳を守り、より良い人間関係を構築したうえで、協力して目標を達成できる能力を養うため、臨床実習を各学年に配置する。
- (ウ) 生涯にわたって学術的探究を行い、自己研鑽するなど、作業療法分野に寄与するための姿勢を養うために作業療法研究法、卒業研究などの科目を配置する。

#### [実施方針]

教育課程の実施にあたっては、作業療法士国家試験、臨床実習での実践能力到達目標をベンチマークとして到達度を検証する。各講義科目、演習科目ではアクティブラーニングを推進する。実践能力の到達度の検証については、学内演習科目においても確認を行い、臨床実習での実践的な技能、姿勢、態度の習得につながるように備える。実習科目においては、学内・学外での演習・実習の「振り返り」を重視し、適切なフィードバックを行う中で、学習効果を高める。

#### [学習成果の評価方法]

- (ア) 作業療法実践に必要な専門知識に対しては専門基礎および専門科目および総合演



## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

習において、定期試験やレポートを通して評価する。

- (イ) アカデミックな知識に対しては基礎科目あるいは専門基礎科目における定期試験やレポートを通して評価する。
- (ウ) 汎用的な技能・態度は、シンメディカル I ~ IV (PEPA)、臨床実習前後で行う OSCE (PEPA)、卒業研究を通して評価する。
- (エ) 作業療法士として求められる専門的な技能は、演習科目 (PEPA)、臨床実習または臨床実習前後で行う OSCE (PEPA) を通して評価する。
- (オ) 作業療法士として望まれる態度は、演習科目 (PEPA)、保健医療福祉実習、地域作業療法学演習、総合臨床実習および臨床実習前後で行う OSCE (PEPA) を通して評価する。
- (カ) 協働的かつ創造的な問題解決能力については、シンメディカル I ~ IV (PEPA) を通して評価する。

### 【臨床工学科】

#### [編成方針]

臨床工学科では、ディプロマポリシーを達成するため、教育課程を基礎科目、専門基礎科目、専門科目の 3 区分で構成し段階的に配置する。各区分は、以下のような目標をもつ授業科目で構成される。

#### ア. 基礎科目

- (ア) 社会人として豊かな教養を身につけるため、様々な一般教養科目を配置する。
- (イ) 臨床工学を学ぶための基盤を形成するため、工学分野の基礎となる数学、物理学系科目を初年次に配置する。

#### イ. 専門基礎科目

- (ア) 臨床工学を学ぶための基盤知識を習得するため、医学・工学基礎の講義科目と演習科目を配置する。
- (イ) 臨床工学専門科目への導入として、医学、

工学、情報学の応用に関する講義・演習・実習科目を配置する。

- (ウ) 協働的な問題解決能力を習得するため、シンメディカル I ~ IV を配置する。

#### ウ. 専門科目

- (ア) 臨床工学の視点から医療に携わるため、医学、工学、情報学の融合領域に関する講義科目を配置する。
- (イ) 臨床工学技士に求められる専門知識・技能を習得するため、医用機器学(計測装置、治療機器、安全管理など)と生命維持装置学(呼吸療法装置、体外循環装置、血液浄化装置など)に関する講義科目と学内実習科目を配置する。
- (ウ) 臨床工学技士としての応用力・実践力を育成するために、臨床実習 I ~ IV を配置する。
- (エ) 臨床工学技士として生涯にわたる学習の重要性を認識し、かつ主体的に課題を発掘および解決する姿勢を身につけるために卒業研究を、また、日進月歩に発展する医学・工学や医療機器開発の動向を把握するために臨床工学特論、臨床工学特別演習等の科目を配置する。

#### [実施方針]

教育課程の実施に当たっては、臨床工学技士国家試験や第 2 種 ME 技術実力検定試験などをベンチマークとして到達度を検証する。また、アクティブラーニングを積極的に取り入れ、学内・学外の演習・実習の「振り返り」を重視するとともに、医療機器メーカー等で最新の医療機器に接する機会も多く設け、技能の応用力が獲得されたかを検証し、評価する。

#### [学習成果の評価方法]

- (ア) 各科目の成績評価ならびに授業アンケートをもとにして学習成果の達成状況の評価する。
- (イ) 一般教養に関しては基礎科目を、臨床工学分野における医工学の知識に関しては専門基礎科目を中心とした、科目成績評価

## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

をもとに学習成果の達成状況を評価する。

- (ウ) 臨床工学技士業務に求められる技能に関しては、臨床実習・学内実習を中心としてPEPA、ルーブリック評価と授業アンケートから学習成果の達成状況を評価する。
- (エ) アカデミック分野における課題抽出ならびにその解決能力と、生涯学習のための技能・態度・姿勢については、卒業研究、臨床工学特別演習などで、ルーブリック評価により学習成果の達成状況を評価する。
- (オ) 臨床工学科カリキュラムを通しては、臨床工学技士国家試験や第2種ME技術実力検定試験などをベンチマークとして学習成果の達成状況を評価する。
- (カ) 臨床工学技士として医療分野に携わりチーム医療を実践するための多職種間連携能力に関しては、シンメディカルI～IVならびに授業アンケートから学習成果の達成状況を評価する。

### ③入学者の受入れに関する方針

#### 【看護学科】

##### ア. 求める学生像

医療保健学部看護学科では、卒業後に看護職として従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の修得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

- (ア) 医療と看護の重要性について理解がある人【知識・技能】
- (イ) 人々の健康や福祉の向上および活動に関心が高く、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】
- (ウ) 人の話を聴くことができ、自己の考えを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】
- (エ) 生物、化学、物理、数学を通じて得られる看護に必要な自然科学的思考力と英語、国語の読解力・言語運用能力を有する人【知識・技能】

##### イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

##### (ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文において医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。

##### (イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

##### (ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

##### (エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

#### 【理学療法学科】

##### ア. 求める学生像

医療保健学部理学療法学科では、卒業後に理学療法士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識・技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

- (ア) 人々の健康、医療、福祉に関心があり、理学療法士の特性、役割、重要性について理解している人【知識・技能】
- (イ) 自分の言動に責任を持ち、周りの人々と協働することができる人【主体性・協働性】

## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

(ウ) 人の話をよく聞くことができ、道徳的見地から判断し、かつ、論理的に考え、自分が思っていることを相手に理解できるように説明ができる人【思考力・判断力・表現力】

(エ) 英語・国語の読解および表現能力があり、数学・生物・物理に関する医療系カリキュラムに適応できる基礎知識を有する人【知識・技能】

### イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

#### (ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

#### (イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

#### (ウ) 一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

#### (エ) 大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

### 【作業療法学科】

### ア. 求める学生像

医療保健学部作業療法学科では、卒業後に作業療法士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

(ア) 日本の医療の現状と作業療法の重要性について理解している人【知識・技能】

(イ) 人々の健康や福祉の向上とそれに向けた活動に関心の高い人【主体性・協働性】

(ウ) 人の話をよく聞くことができ、論理的に考え、自分が思っていることを相手にわかるように示せる人【思考力・判断力・表現力】

(エ) 英語・国語の読解力および言語運用能力があり、医療を理解する上での理科系の基礎知識を有する人【知識・技能】

### イ. 入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行います。

#### (ア) 総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

#### (イ) 学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

#### (ウ) 一般選抜入試

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

### （エ）大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

### 【臨床工学科】

#### ア．求める学生像

医療保健学部臨床工学科では、卒業後に臨床工学技士に従事することを前提に、医療専門職に求められる知識技能の習得を図り、生命・人間尊重の倫理観や豊かな感性を磨くため、次のような人物を求めています。

（ア）多くのことに知的好奇心を持ちチャレンジ精神と探究心を持つ人【知識・技能・主体性】

（イ）責任感があり実行力があり他者を思いやることができる人【主体性・協働性】

（ウ）医学と工学に関心があり医療分野で社会に貢献したいという意欲を持ち、創造的に考え行動しようとする人【思考力・判断力・表現力】

（エ）数学・物理・化学・生物を通じて得られる数理的・自然科学的思考能力を持ち、国語・英語の読解力を有する人【知識・技能】

#### イ．入学者選抜の基本方針

本学では以下の方法によって評価・判定を行

います。

#### （ア）総合型選抜入試

資料読解や数式を用いて解答する基礎力テストや小論文、小レポート、テストなどにおいて医療人に就く前提となる知識や思考力を測り、グループディスカッションや面接を通して他者との協働性、共感能力、主体性、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。試験内容は、各学科選抜で重視する項目に応じて組み合わせを行い実施します。

#### （イ）学校推薦型選抜入試

小論文や英語・国語・数学分野から選択となる基礎学力試験を行います。また、面接において他者との協働性、共感能力、知性と感性のバランスの取れたコミュニケーション能力などについて評価・判定を行います。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。

#### （ウ）一般選抜入試

複数科目からなる個別学力試験では、知識、読解力、思考力、文章表現力について評価・判定を行います。

#### （エ）大学入学共通テスト利用入試

大学入学共通テストにより、知識、読解力、思考力について評価・判定を行います。

視点に立った実践ができる。

イ．学際的な視点とリサーチマインドをもって、実践の場での課題を発見し、保健医療福祉に関して深めた知識から、課題解決のための新たなケア技術やシステムの開発を試みることができる。

ウ．看護専門職者として専門的役割を示すロールモデルとなって、指導力を発揮して教育的役割を果たすことができる。

エ．保健・医療・福祉のさまざまな領域で看護組織及び看護ケアをマネジメントし、関連多

### （2）藍野大学大学院の3つのポリシー

#### ①卒業の認定に関する方針

看護学研究科では、教育目標に照らし、以下のような能力・資質を身につけることを、修業認定、及び修士の学位授与方針とする。2年以上在学し、修了に必要な単位を修得し、かつ修士論文を提出して審査に合格し、加えて最終試験に合格した者に修士（看護学）の学位を授与する。

ア．高い倫理観に基づいた深い学識と識見及び豊かな人間性を持ち、サービスを受ける者の



## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

職種と連携し協働することができる。

### ②教育課程の編成及び実施に関する方針

本研究科は、医療技術の発展と少子高齢化の進行に伴い近年急速に高まっている看護サービスの質向上に対する要請に応えるため、高度な専門的知識と技術の上に、深い学識と識見及び豊かな人間性に裏打ちされた看護実践者、看護管理者、教育研究者を養成することを目指した教育課程を編成する。そのため、共通科目には高度な看護実践、管理および教育研究を行う基礎となる科目、保健医療福祉に関する造詣を深め、学際的な視点とリサーチマインドを涵養する科目を配置する。

専門科目では、「成育看護学」「高齢者看護学」「精神看護学」「災害看護学」「地域保健看護学」「看護管理学」「感染管理学」の専門領域ごとに特論科目と演習科目を設け、習得した知識と技術を統合して研究を行い、併せて修士論文を作成する「特別研究」を配置する。

### ③入学者の受入れに関する方針

ア. 大学院教育を通じてどのような力を発展・向上させるのか

本研究科は、実践看護分野と看護マネジメント分野の2つの分野からなる。実践看護分野では、高度な専門的知識を獲得させ、専門職業人たる看護実践能力を向上させ、研究的思考能力を開発するとともに、人々のニーズ

(3) びわこリハビリテーション専門職大学の3つのポリシー

#### ①卒業の認定に関する方針

##### 【リハビリテーション学部】

本学において所定の期間在学し、学科ごとに定める単位を取得し、次のとおりの能力を身に付けた者に学位を授与する。

DP01 生命の尊厳と職業倫理を備え、幅広い教養を有し、リハビリテーション専門職としての自覚と責任を持ち、生涯にわたり自己研鑽することができる。

を汲み取る感性と豊かな表現力を養う。看護マネジメント分野では、複雑な看護課題を解決するために必要な柔軟な思考力、的確な判断力、高度な専門的知識・技能を獲得させるとともに、研究的思考能力を開発する。

イ. 入学者に求める能力は何か

上記ア. を踏まえ、以下の資質、能力を備えた者を入学者として求める。

(ア) 大学卒業程度以上の看護学の基本的な知識・技能を有している人

(イ) 看護学に対する深い関心をもつ人

(ウ) 研究の遂行に必要なコミュニケーション能力、思考力、分析能力及び記述能力のある人

(エ) 高い倫理観のもと、人々の健康のために働く強い意志と協調性をもつ人

(オ) 看護の実践、看護学の教育研究において、自主的に課題を発掘し解決することを志向する人

ウ. 入学者に求める能力をどのように評価するのか

入学者の評価は、小論文と面接によって行う。小論文では主に、知識、思考力、分析能力、記述能力について評価する。面接では、看護学に対する関心、コミュニケーション能力、倫理観、協調性、課題解決志向を中心に評価する。

DP02 地域住民や多職種と円滑なコミュニケーションをとることができ、信頼関係を築くことができる。

DP03 理論に裏付けられた知識と技術を有し、適切なリハビリテーションを実践することができる。

DP04 地域及び地域住民が抱える課題を発見することができ、解決するための方法を論理的に考案することができる。

DP05 専攻分野に関連する他分野について学ぶことで応用力を高め、多職種と連携し理学

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

療法師・作業療法師の新たな展開を創造することができる。

### 【理学療法学科】

理学療法学科では、所定の規則に基づき 131 単位の単位取得及び上記の要件を充たしたうえで、次のような能力・資質を備えた人物に理学療法学士（専門職）の学位を授与する。

DP01 人を尊び幅広い教養を有し、差別と偏見を持たない倫理感のもと、理学療法士としての自覚と責任を持ち、生涯にわたり自己研鑽することができる。

DP02 地域住民を取り巻く多職種と必要な信頼関係を築き、円滑なコミュニケーションをもって理学療法を実践することができる。

DP03 理学療法学の専門的知識及び技術を修得し、論理的思考に基づいた最適な理学療法を実践することができる。

DP04 地域住民の健康で質の高い生活の維持・向上のために、理学療法士の特性を活かし地域が抱える身体活動に関する課題を発見し、解決方法を導くことができる。

DP05 理学療法に関連する他分野の専門的知識を修得し、地域住民の身体活動に関する自助、共助を支援するため、多職種と連携し、理学療法を創造的に応用することができる。

### 【作業療法学科】

作業療法学科では、所定の規則に基づき 130 単位の単位取得及び上記の要件を充たしたうえで、次のような能力・資質を備えた人物に作業療法学士（専門職）の学位を授与する。

DP01 作業療法士として生命を尊び、地域住民との関わりを大切にす豊かな人間性と倫理観、幅広い教養を有し、自覚と責任をもって行動し、生涯学び続けることができる。

DP02 多職種と協調・連携して課題を共有し、且つ解決に向けて支援を実践するためのコミュニケーション能力を有し、信頼関係

を構築することができる。

DP03 作業療法に関する専門的知識と技術に基づき、生活課題の解決に向けて作業療法を実践することができる。

DP04 変化する地域社会における課題の発見に努め、課題解決に向けて、作業療法士の専門性を活かした創造的な解決方法を導くことができる。

DP05 作業療法に関連する他分野の専門的知識を修得し、地域生活課題の新たな支援展開に向けて作業療法を活用することができる。

### ②教育課程の編成及び実施に関する方針

#### 【リハビリテーション学部】

リハビリテーション学部の教育課程は、専門職大学設置基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の 5 つの方針で編成する。

CP01 倫理観に基づき人を尊重し、生涯にわたり自己研鑽し、地域住民の社会生活を支援できるようになるための科目を配置する。

CP02 専門職に必要なコミュニケーション能力を有し、対象者や多職種と良好な対人関係を築くことができるようになるための科目を配置する。

CP03 専門職として必要な専門的知識や技術を修得し、論理的思考に基づいた問題解決策を考案できるようになるための科目を配置する。

CP04 自らの専門性を基盤とし、地域住民と地域社会の課題発掘と問題解決を実践できるようになるための科目を配置する。

CP05 専門領域に関連する専門分野の知識を修得し、地域共生社会の実現に向けて多職種と連携して支援できるようになるための科目を配置する。

#### 【理学療法学科】

理学療法学科の教育課程は、専門職大学設置

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の5つの方針で編成する。

CP01 倫理観に基づき生命を尊重し、責任をもって生涯にわたり理学療法士として研鑽を続け、地域住民の社会生活を支援する能力を養うための科目を配置する。

CP02 理学療法士として必要なコミュニケーション能力を有し、多職種と協調し、連携して地域住民との関係を構築する能力を養うための科目を配置する。

CP03 理学療法に必要な専門知識と技術を身に付け、科学的かつ論理的思考をもって科学的根拠に基づいた理学療法を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP04 理学療法の知識・技術を基盤とし、地域住民の生活から地域社会を見渡す広い視野を持ち地域の課題を発掘し、問題解決を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP05 理学療法に関連する他分野の専門学力を修得し、地域住民の健康で生涯にわたる質の高い生活維持に関して、理学療法の知識や技術を養うための科目を配置する。

### 【作業療法学科】

作業療法学科の教育課程は、専門職大学設置基準及び理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則及び本学科のディプロマ・ポリシーを達成するために、以下の5つの方針で編成する。

CP01 人の生命や価値観や人の暮らす社会を理解できる幅広い教養を有し、医療専門職の意義や役割を理解し学術的に探究できる能力を養うための科目を配置する。

CP02 多職種と協調・連携するための円滑なコミュニケーション能力を養うための科目を配置する。

CP03 作業療法士として必要な専門的知識と技術を習得し、地域住民を心身機能、社会活動・参加また環境面から捉える思考方法を

身に付け、作業療法を実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP04 人的、作業的、環境的側面から地域生活課題の発見に努め、論理的に課題の構造化を行い、課題解決に向けて実践できる能力を養うための科目を配置する。

CP05 地域社会への関心をもち関連する分野について理解を深め、地域生活の課題解決にむけて作業療法を応用的・創造的に活用する能力を養うための科目を配置する。

### ③入学者の受入れに関する方針

#### 【リハビリテーション学部】

リハビリテーション学部では、「①高い倫理観と豊かな人間性、理論に裏付けられた専門的な知識と技術を身に付け、子どもから高齢者までの地域住民を対象に、適切なリハビリテーションを提供できる人材を養成する。②地域共生社会の実現に向け、理学療法士・作業療法士として保健・福祉・スポーツ・就労等の分野において、多職種と連携・協力のもと、地域住民及び地域が抱える課題を発見し、解決することのできる創造性豊かな人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。

[知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

[主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し人に興味を持ち、リハビリテーションの専門職として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 良好な対人関係を築くためのコミュニケーション能力を有し、他者と協働して物事を進めることができる人。

[思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともにその解決に向け、自主的に取り組み継続できる人。

AP05 多角的に物事を捉え、新しい展開への探求と論理的思考ができる人。



## 第二 事業の概要 (3つのポリシー)

### 【理学療法学科】

理学療法学科では、「①理学療法士として、子どもから高齢者までの地域住民を対象に、住み慣れた地域で生活を維持するために、地域住民の思いに共感し、且つ多職種と協働し、科学的な根拠に基づく最適な理学療法を実践できる人材を養成する。②理学療法士の専門性を活かし、地域住民の健康寿命延伸と QOL 維持・向上のために、身体活動に関わる生活の側面から、多職種との連携を通じて地域が抱える課題を発見し解決することで、健康・スポーツ・福祉の分野において地域共生社会の実現に向けて地域住民の支援ができる人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。そのために、以下のような資質を有する学生を求めている。

#### [知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

#### [主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し人に興味を持ち、リハビリテーションの専門職として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 協調性をもち他者と良好な関係を築き、協働して自己の役割を責任を持って果たすことができる人。

#### [思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともに、その解決に向け、自主的に物事に取り組み継続できる人。

AP05 論理的な思考力や柔軟な発想力を持ち、自己の意見を的確に示す表現力や論述力を有している人。

### 【作業療法学科】

#### (4) 藍野大学短期大学部の3つのポリシー

##### ①卒業の認定に関する方針

藍野大学短期大学部では、医療や看護の十分な専門知識を身につけているのみならず、医療環境の変化に対応してゆくことのできる柔軟性を持ち、さらに教育理念にあるように「医やす

作業療法学科では、「①子どもから高齢者までの多様な年齢層の地域住民を対象として、健康で幸福な生活の獲得に向け、意味のある生活行為とそれを行うために必要な心身の活動に対して環境面に働きかけながら作業を手段あるいは目的として利用できる人材を養成する。②地域住民が抱える暮らしの中での課題を発見し、多職種や産業界と連携しながら新たな支援や支援体制の構築ができることによって社会適応力の向上を促し、地域共生社会の実現に向けて保健・福祉・就労等の面から貢献できる人材を養成する。」ことを養成する人材像として掲げている。

そのために、以下のような資質を有する学生を求めている。

#### [知識・技能]

AP01 高等学校までに学ぶべき基礎的な知識を有する人。

#### [主体性・多様性・協調性]

AP02 人を尊重し、健康や生活に関心を持ち、作業療法士として社会に貢献することに意欲を持つ人。

AP03 協調性に富み他者と良好な関係を築き、柔軟な思考をもって、物事を協働して進めることができる人。

#### [思考力・判断力・表現力]

AP04 客観的に状況を把握し、課題を発見するとともに、その解決に向け、継続性をもって自ら考えて積極的に取り組むことができる人。

AP05 論理的な思考力や柔軟な発想力を持ち、自己の意見を的確に示す表現力や論述力を有している人。

ばかりでなく慰める」ことができる人間性の豊かな医療人を育成することを目指しています。具体的にはカリキュラムに従った学修の結果、以下の項目を満たし、かつ所定の単位を取得した者に対して卒業を認定します。

ア. 看護師あるいは保健師として十分な専門知

## 第二 事業の概要（3つのポリシー）

識と技能を身につけている。

- イ. 患者あるいは対象となる個人やその家族等と共感を持って接することができて、円滑なコミュニケーションをとることができる。
- ウ. 社会人として、また医療人として豊かな人間性と高い倫理性を備えている。
- エ. 自己のスキルアップ、新しい知識の修得について意欲的であり、その方法について理解している。オ. 修得した知見を他者に対して論理的に説明できる。

### 【第一看護学科・第二看護学科】

- ア. チーム医療の一員として同僚や他職種の人と協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。
- イ. 医療・保健・福祉における社会資源の知識を持ち、活用方法を考えることで支援システムについて知ることができる。

### 【専攻科（地域看護学専攻）】

- ア. 地域の健康課題を明確にし、その課題解決に向けて計画・立案する方法を理解している。
- イ. 地域に存在する社会資源の把握及び活用方法を修得し、必要な支援システムや資源について考えることができる。
- ウ. 公衆衛生看護の対象となる個人・家族・集団・組織に対して、対象別の実践方法を理解している。
- エ. 関係機関・関係職種との協調性を保ちつつ積極的に関わることができる。

### ②教育課程の編成及び実施に関する方針

藍野大学短期大学部は、育成する人材像をディプロマ・ポリシーで定めています。その目標を達成するために以下の方針で教育課程の編成がなされています。また、学修効果を高めるために、アクティブ・ラーニングなどの教育方法を積極的に取り入れます。

- ア. 基礎分野・専門分野等、保健師助産師看護師学校養成所指定規則に則り、適切に科目を配置する。

- イ. 基礎科目、専門科目の比率を適切に定める。
- ウ. 各科目の履修年次、履修順序を最も効果的に学修できるように配置する。
- エ. 豊かな人間性を涵養するため、幅広い教養教育を行う。
- オ. 論理的な思考や、それに基づいたプレゼンテーション能力を身に付ける。
- カ. 専門職業人としての自覚と能力を養うために、臨地実習を重視する。

各科目については、定期試験等により必要となる知識、技能が身につけているかを判定します。実習科目は、看護師・保健師としての専門知識及び技能、協調性、コミュニケーション能力等について評価基準を基に、ディプロマ・ポリシーで掲げる能力が身につけているかを評価します。

### ③入学者の受入れに関する方針

藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパスで求める学生像

#### 【第一看護学科】

第一看護学科では、卒業後に看護師として従事することを前提に、准看護師から看護師へのステップアップをするために、専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識・技能の修得を図ります。また、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求めます。

- ア. 准看護師の基礎的な知識と技術を修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語運用能力、数学の計算能力）や理解力を身につけている。《知識・技能》
- イ. 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわ

## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

かる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。《思考力・判断力・表現力》

ウ. 人や看護に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

### 【専攻科 (地域看護学専攻)】

専攻科 (地域看護学専攻) では、卒業後に保健師として従事することを前提に、地域・企業・学校などの活動の場において、あらゆる世代やあらゆる健康レベルの個人、家族、さらに集団・組織を対象とした公衆衛生看護活動を展開できる人材育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針) に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針) に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求めます。

ア. 公衆衛生看護を学ぶための基礎知識 (特に看護学・公衆衛生学など)、看護技術や理解力を身につけている。《知識・技能》

イ. 物事を多面的に捉え、課題や問題に気づき、その解決に向けて論理的に表現できる《思考力・判断力・表現力》

ウ. 人々の健康に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

藍野大学短期大学部 大阪茨木キャンパス 入学者選抜の基本方針

「アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)」に基づき、「学力の3要素」である①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」及び③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を

多面的・総合的に評価を行います。

### 【第一看護学科】

ア. 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、小論文や個別学力試験、面接、出願書類等によって総合的に評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定します。

イ. 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、小論文や面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定します。

ウ. 総合型選抜入試では、小論文や面接、出願書類等によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることで学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定します。

エ. 社会人選抜入試では、専門科目や面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、①に重点を置いて判定します。

### 【専攻科 (地域看護学専攻)】

ア. 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、小論文や個別学力試験、面接、出願書類等によって総合的に評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定します。

イ. 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、小論文や面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定します。

ウ. 社会人選抜入試では、小論文や面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に

## 第二 事業の概要 ( 3つのポリシー )

的に学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、①に重点を置いて判定します。

藍野大学短期大学部 大阪富田林キャンパスで求める学生像

### 【第二看護学科】

第二看護学科では、看護に関しての専門的知識と技術の修得、生命の尊厳を基盤とする倫理観、豊かな人間力を養い、ヒューマンケアを中核としたより実践的な看護の知識・技能の修得を図り、チーム医療の中で看護の役割を果たすことができる人材育成を目指します。

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に定める教育を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に定める学修の成果をあげるために必要な知識・技能や能力、目的意識・意欲等を備えた人を求めます。

ア. 高等学校の教育課程を幅広く修得し、看護学を学ぶために基礎的な知識（国語の読解力や言語運用能力、数学の計算能力、科学的素養）や理解力を身につけている。《知識・技能》

イ. 相手と気持ちを分かち合い、人の痛みがわかる感性を持ち、かつ自分の意見を発信して、人との関係を大切にできる。《思考力・判断力・表現力》

ウ. 人や看護に関心を持ち、責任感や協調性を持って明確な目標に対しての実現に努力を惜しまず、主体的に挑戦し最後までやり遂げようとする意欲がある。《主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度》

藍野大学短期大学部 大阪富田林キャンパス 入学者選抜の基本方針

### 【第二看護学科】

第二看護学科の選抜試験では、「アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）」に基づき、「学力の3要素」である①「知識・技能」、②「思考力・判断力・表現力」および③「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を多面的・総合的に評価を行います。

ア. 一般選抜入試では、入学後に必要な基礎学力を有する生徒を選抜するために、小論文や個別学力試験、面接、出願書類等によって総合的に評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、①②に重点を置いて判定します。

イ. 学校推薦型選抜入試では、学校長から推薦され、入学を強く希望する学修意欲の高い生徒を選抜すべく、小論文、面接、出願書類等にもとづいて総合的に学力の3要素を評価します。また知識・技能の観点から、高等学校での学習成績を調査書の「学習成績の状況」により評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②に重点を置いて判定します。

ウ. 総合型選抜入試（高大接続基礎能力、アクティブ・ラーニング）では、講義等理解力試験やディスカッション、受講態度、プレゼンテーション・面接、出題書類等によって、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることによって学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定します。

エ. 社会人選抜入試では、小論文、面接、出願書類等で能力・意欲・適性等を多面的・総合的に見ることによって学力の3要素を評価します。この入学試験では、学力の3要素のうち、②③に重点を置いて判定します。



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### 2. 中期的な計画及び事業計画の進捗・達成状況

#### (1) 藍野大学

[中期的な計画の進捗・達成状況]

中期計画（2020年度～2025年度）の2年目となる2021年度は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学事等の中止やオンライン・オンデマンド授業を中心とした大学運営を余儀なくされる結果となった。しかし、中期計画に定める2025年度目標達成に向けたこれまでの取り組みを検証する機会とすることができた。特に「内部質保証・教学マネジメント推進体制」を構築することができたことは、PDCAサイクルが具現化する契機となることが予想される。これにより、現状実施できていないKPIの達成に寄与できるものと考え、次年度以降取り組みを強化したい。

[事業計画の進捗・達成状況]

#### ①内部質保証に関すること

KPI	2021年度計画
内部質保証体制の確立と認証評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年度に改正した、「内部質保証の方針」「内部質保証体系図」に則った大学運営を実行する。</li> <li>・2023年度に第3期認証評価を受審することを踏まえ、中間報告書を作成し、外部評価を実施する。</li> </ul>

2021年度実績
<p>「藍野大学内部質保証・教学マネジメント推進体制」に基づき、内部質保証の中心的役割を担う委員会に役割・権限を与え、各組織の長を含む委員会がPDCAサイクルを回し、それぞれの目標達成に努めた。問題点、解決策、改善結果の妥当性については「運営会議」でその内容を検証し、問題の解決、改善を図った。<b>第3期認証評価については、2021年12月に中間報告書を作成し、外部評価者に提出した。</b>2022年度私立大学等改革総合支援事業については、タイプ1、2、3、全てにおいて通過得点を得ることはできなかった。</p>

#### ②教育研究組織に関すること

KPI	2021年度計画
国家資格に拠らない新たな学部の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会のニーズに対応する学部の検討</li> </ul>
看護学研究科後期博士課程の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Dマル合を設置認可必要数確保するための業績増</li> <li>・設置申請準備</li> </ul>
リハビリテーション分野研究科の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Mマル合を設置認可必要数確保するための業績増</li> <li>・設置申請準備</li> </ul>

2021年度実績
<p>社会のニーズに対応する国家試験に頼らない新たな学部・学科・コース設置、看護学研究科博士課程設置については、本年度新たな進展はみられなかった。リハビリテーション分野研究科設置については、<b>担当する教員が看護学研究科での修士課程講義を担当するなど、研究業績を含め準備を進め、2023年3月にリハビリテーション分野新研究科を設置認可申請する予定</b>である。</p>

#### ③教育課程・学習成果に関すること

KPI	2021年度計画
アセスメントプラン（学習成果の評価指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度、2020年度卒業生を対象とした学習到達度評価結果の集約・検証</li> <li>・アセスメントプランの改定</li> </ul>
シンメディカル授業の推進（多職種理解を通して職業の専門性を知り、連携した問題解決の方法について討議・学習する授業）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2021年度新規開講科目であるシンメディカルⅡの準備、実施</li> <li>・シンメディカルⅠ～Ⅳの学習到達度評価を見直し、アセスメントプランの改定へ反映</li> </ul>
国家試験100%合格の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学科の国家試験対策指導・結果について集約</li> <li>・対策検討</li> </ul>

## 第二 事業の概要 ( 事業計画等の進捗達成状況 )

4年卒業率の向上・退学率の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学科の2013年度入学生以降の卒業率、退学率の推移を集約</li> <li>対策検討</li> </ul>
累積 GPA 分布による改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度 GPA 分布表の作成</li> </ul>
授業評価アンケート及び卒業時アンケートの活用並びに満足度の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業評価アンケートの分析</li> <li>2020年度実施遠隔授業に対するアンケート調査の実施</li> <li>授業評価アンケート結果を用いた BEST LECTURER の選定</li> </ul>
藍野グループ共催イベントへの学生の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>藍野グループ共催イベント情報の一元化、共有化について検討 (LMS の活用)</li> </ul>
TOEIC 試験スコアの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>TOEIC 試験対策の検討</li> </ul>
海外提携大学数の増加、短期留学制度の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>国際医療研修、国際看護研修について再開時期の検討</li> </ul>

2021 年度実績
<p>アセスメントプランについては、2020 年度に策定したアセスメントプランに基づき、2019 年度、2020 年度の卒業生を対象とした学習到達度評価を取りまとめた。その結果、0～3 の 4 段階でほぼ 2～3 レベルであった。2022 年度はこの結果をふまえてアセスメントプランの改定を行う。シンメディカル授業は I と II を実施した。シンメディカル II については新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインで実施した。結果を集約し、2022 年度は学習目標、学習到達度評価を見直す予定である。<b>国家試験は、看護学科 100%、理学療法学科 93.3%、作業療法学科 65.9%、臨床工学科 96.2%</b>であった (すべて新卒)。2022 年度も全学科 100% を目標として国試対策を実施する。4 年卒業率については、臨床工学科と作業療法学科が低いので、2022 年度以降は向上、退学率の減少を目指す。累積 GPA 分布の活用は 2022 年度より具体的に開始する。授業評価アンケート[状況把握用][実践把握用]を実施した。2022 年度より大学規定に則り、両方のアンケート共に FD・SD 推進部会の管轄で実施する。藍野グループ共催イベントへの学生参加は、新型コロナウイルスの影響で各種イベントは中止であったため特になかった。TOEIC 試験対策は、2021 年度海外渡航ができない状況でもあり着手できなかった。これについては、今後、必要性の有無も含めて検討する。海外提携大学数の増加、短期留学制度の充実については、2021 年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響で、増加・充実の考える段階に至っていない。2022 年度以降の課題である。</p>

### ④ 学生の受け入れに関すること

KPI	2021 年度計画
高大連携協定校の増加	現状の 2 校に 1 校の増加の合計 3 校を目指す。
内部推薦制度の構築	藍野高校のメディカルサイエンスコースの受け入れに関わる成績基準等の数値の具現化を目指す。
志願者倍率の増加	大学志願者の倍率で、現状に 0.1 倍加算の 2.6 倍を目指す。
入試区分別成績状況、退学率	1 年終了時の平均 GPA が 2.45 以上かつ入試区分それぞれの平均 GPA が (全体平均 -0.35) を下回らないことと、1 年終了時の退学率 1.5% 以内を目標とする。
修学支援制度の利用者数	授業料減免 4 名 自宅外奨学金給付 6 名 (看護 2 名・理学 2 名・作業 1 名・臨工 1 名) を目指す。

2021 年度実績
<p>高大連携協定校の増加については、滋賀県立八幡高等学校、大阪府立千里青雲高等学校、藍野高等学校の 3 校と連携協定を締結している。今後、さらなる高大連携協定校の締結を目指している。内部推薦制度の構築については、藍野高等学校メディカルサイエンスコースの生徒を対象とした内部推薦制度について、成績等の基準を決定した。2023 年度入学入試から内部推薦が実施される。志願者倍率の増加については、<b>2022 年度入学生の志願者倍率は 2.52 倍となり、目標の 2.6 倍には僅かに届かなかった。学科によっては定員割れがみられることから、入試広報活動により一層注力する必要がある。</b>入試区分別成績状況、退学率については、2021 年度入学生 1 年終了時の平均 GPA は 2.34 となり、目標の 2.45 を下回った。平均 GPA については成績の評価方法にも関係することから、今後教務委員会と協議する必要がある。総合型選抜入試、学校推薦型選抜入試、一般選抜入試の各区分において、それぞれの平均 GPA は (全体平均-0.35) を上回る結果となり、入試区分別に差は生じていなかった。1 年終了時の退学率は 2.95% であり目標に至らなかった。特に学校推薦型選抜入試の学生が 8 名退学しており、高い割合 (3.27%) となっている。今後強化していく予定の入試区分であることから、合格から入学までの長期に渡る入学準備対策・支援についても併せて検討していく必要がある。修学支援制度の利用者数については、授業料減免 1 名、自宅外奨学金給付 3 名 (看護 1 名・理学 2 名) となった。自宅外奨学金給付金については、それぞれ予定数以上の奨学金対象学生を選出したが、入学を辞退したため達していない結果となった。授業料減免制度については、学生支援センターとともに必要な学生への周知方法の検討が必要である。</p>

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ⑤教員・教員組織に関すること

KPI	2021 年度計画
外国人教員の採用、学生に対する指導	・教職員への英語指導強化 ・希望学生への指導体制構築
教員評価の実施	・評価制度の検証の実施
教員のうち博士学位取得率	・2022 年 4 月に 60%
FD・SD 公開研修会の実施（参加率）	・年 3 回以上の開催 ・出席率 80%以上の実現
科学研究費補助金採択数	・新規採択数 7 件
科研費以外の競争的研究資金採択数	・採択数 3 件
受託研究、奨学寄附金件数	新規採択に向けての準備
研究員、客員研究員の受け入れ	新規研究員、客員研究員の選出
特許出願及び取得	新規の特許出願に向けた取り組み開始
中央研究施設による論文発表と知的財産の管理及び活用	・客員研究員との共同研究を含め 4～5 編発表 ・研究成果の開発に着手

2021 年度実績
<p>教職員の英語指導強化については、英語を母国語とする助手が希望する教員に対して英語会話及び英語論文執筆指導を実施した。<b>教員評価については、2022 年度より執行する研究業績、学生教育、社会貢献、大学実務貢献度を対象とする教員資格審査基準を年度末に作成した。2021 年度の博士学位取得率は 55%</b>であった。また、<b>2021 年度 FD 研修参加率は 91.9%、SD 研修参加率は 89%</b>であった。</p> <p><b>科研費の採択数については</b>、新規採択数として 7 件を目標としていたが、今年度は基盤 C については新規応募数 49 件について 4 件の採択、若手研究については 7 件の応募に対して 1 件の採択、挑戦的研究は 2 件の応募に対して 0 件の採択となり、合計で約 1 割の <b>5 件採択</b>となった。全体の採択率が 25%ほどであることを考えると、本学における採択率をさらに向上させる必要があり、来年度に向けて採択率を上げる施策が必要となる。<b>科研費以外の競争的研究資金の採択については、計画で 3 件を予想していたが、本年度は 5 件の採択</b>があり、予想を上回る結果となった。さらなる外部資金の獲得に向けて情報の共有が必要と考える。<b>外部施設との共同研究については</b>、科研費の分担金の件数が一つの指標となるが、<b>2021 年度は 18 件</b>であった。新型コロナウイルス感染症の落ち着きとともに外部施設との共同研究も再開してさらなる研究成果の向上が必要となる。中央研究施設の研究員と客員研究員については、新規 1 名を含む 7 名の研究員と昨年同様 5 名の客員研究員が在籍した。今後も研究員の増員を計画し、研究施設の有効利用を図る。<b>中央研究施設で行われた研究についての論文発表については、3 報の英文論文、1 編の著書、6 報の学会報告</b>が行われた。研究成果の開発として特許出願が 1 件となった。<b>特許出願及び取得については本年度、1 件の特許出願</b>があった。</p>



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ⑥学生支援に関すること

KPI	2021 年度計画
データサイエンス教育の強化	FD 研修会の実施。データサイエンス教育の必要性を検討するための調査内容及び実施方法を検討する。
学習支援システム（manaba）の活用	学生・教員の満足度について調査内容を検討し実施する。ガイダンスにおける使用説明の方法を検討する。
学修行動調査（授業時間・態度）	学修行動調査の実施と結果の公開。
卒業時アンケートによる学生の満足度	卒業時アンケートを実施し、結果を公開する。
求人情報システムの刷新	移行を検討する。
キャリア講座の設置	各学科で実施しているキャリア支援の実態調査を行う。
卒業研修会の実施	各学科で実施している卒業支援の実態調査を行う。 文部科学省が指定する理学療法士・作業療法士臨床実習指導者講習会を本学主催で実施し、臨床実習指導者を年度内で 200 名養成する。

2021 年度実績
<p>学生支援については、2020 年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により、感染対策及び感染者対応に時間を要する事が多く、事業の年間計画の遂行に影響を及ぼすことになった。</p> <p>データサイエンス教育の強化：FD 研修会の実施は、データサイエンス教育、教育実践能力向上及び研究倫理に関するテーマで実施した。研修会を通じて教員の教育活動をより一層向上する目的に寄与することが出来た。データサイエンス教育の必要性を検討するための調査内容及び実施方法の検討については、現行のカリキュラムからデータサイエンス教育に関する科目を抽出し、教育実践が実践されていることを確認した。しかし、科目抽出から 4 学科の差やデータサイエンス教育の強化に向けて概論科目の設定が課題となった。</p> <p>学習支援システム、学修行動調査、卒業時アンケート調査は全て実施した。<b>学習支援システム（manaba）の活用については、ガイダンスにおいて使用説明を実施し、manaba を用いての出欠連絡、成績（小テスト等）、健康管理で運用が慣習化し軌道に乗せることが出来た。</b>学修行動調査、卒業時アンケート調査は、実施したものの新型コロナウイルス感染症拡大によるカリキュラムの見直しや健康管理が優先されたことから、結果を精査し学生のニーズについて検討し、改善案を踏まえた教育実践へのフィードバックは不十分であった。従って、次年度への課題は、アンケート調査結果から学生のニーズを充実に、学生支援の目指すべき留年者及び退学者を減少させ、卒業時の満足度を高めることとする。</p> <p>求人情報システムの刷新：aiai に変わる新求人システムの導入が完了した。次年度は、新システムを活用した就職支援を実施する方向である。</p> <p>キャリア講座の設置：各学科においてキャリア講座を開設し就職支援を行い、就職率 100%に向けて活用した。また、各学科で実施しているキャリア支援の実態調査を実施した。調査の結果を精査し、現役生の就職支援に加えて卒業生のキャリア支援に向けて今後進めていく方針である。</p> <p>卒業研修については、各学科で実施している卒業支援の実態調査を行ったものの卒業研修会の開催など卒業支援には至っていない。次年度は卒業支援の実態調査から実施可能な計画を校友会とも連携し、卒業研修会の開催に向けての立案計画予定としたい。</p>

### ⑦教育研究等環境に関すること

KPI	2021 年度計画
アクティブラーニングによる授業比率	コロナの状況を踏まえた対面授業の実施方法を検証し、環境整備を行う。

2021 年度実績
<p>新型コロナウイルス感染症拡大が続いたことを受け、<b>2020 年度に引き続きオンライン・オンデマンド形式の授業展開</b>を行った。一方、新型コロナウイルス感染症の状況及びコロナ対策の実施を踏まえ、<b>対面授業を 6 割に増やした授業展開</b>を行うことができた。アクティブラーニングによる授業の実施はできていないものの<b>対面授業の比率を増やしたことによる感染者やクラスターの発生が無かったことは環境の整備ができていたと評価</b>できる。<b>2022 年度は対面授業の比率を 8 割程度まで戻すこと</b>としている。</p>

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ⑧社会連携・社会貢献

KPI	2021 年度計画
提携プロスポーツ団体の増加	新たにプロスポーツ団体（バスケットあるいは障害者スポーツも含む）との連携を検討する。
健康増進事業の連携先からの評価・改善	実施プロジェクトの効果検証を実施、プログラムの拡充、実施延期となっていた事業の実施、新たに茨木市・介護予防事業への参画、「大阪大学グローバルビレッジ津雲台」との学生参画型連携プログラムを協議
市民公開講座の参加実績増加	4 学科 5 講座の企画、実施できれば 200 名から 250 名
藍野グループ（病院等）で開催する市民公開講座への学生・教員の参加数	（大学教員と藍野病院理学療法士による市民公開講座の実施）一部学科教員による実施
藍野グループ共催イベントへの学生参加	（現在中止中の藍野病院「まちの保健室」が再開された場合に検討）一部学科学生・教員から一部学科だが、組織的な参画

2021 年度実績
2021 年度は、新型コロナウイルス感染症拡大における活動制限があり、学科単独での社会連携・社会貢献活動は実施できなかったものの、市民公開講座や健康増進事業など全学科一体的な活動は実施できていない結果となった。しかし、 <b>新型コロナウイルス「職域接種」を在学生・教職員・その他関連企業の方（約 1,400 名）を対象に、藍野大学大阪茨木キャンパスで実施した。</b> 接種には、 <b>本法人の医師免許・看護師免許を有する教員及び関連病院である藍野病院の医師及び看護師が従事し、その他の教員や事務職員も接種会場の準備や接種者の誘導などを行った。</b> 2022 年度については、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しつつも、web を利用しながらの企画など、実施することを前提にできる方法を検討する。

### ⑨藍野大学中央図書館

#### ア．新たな大学図書館像の模索

2019 年 4 月から図書館業務を外部委託としてきたが、2021 年度が委託の最終年度となった。本年度は、幅広い業務の専門性を高めるため、電子リソースの充実を図った。文献検索の高度化・発信能力の向上に必要な整備として新しく検索データベース「Gale Academic One File」と「Access Physiotherapy」を導入した。さらに、図書館の実蔵図書の新旧入れ替えを検討して、収蔵スペースの有効活用を進めた。

#### イ．業務改善と利用者サービスの向上

本年度は開館以来最初となる大規模蔵書点検を 9 月に実施し、実蔵書のデータを得た。実蔵書の再整理は更なる利用者サービス向上につながることになる。中央図書館における図書管理システムを全設置校で統一するためのファーストステップとして、中央図書館同様、短期大学部富田林キャンパス図書館、びわこリハビリテーション専門職大学図書館においても全館蔵書点検を実施し、明浄学院高等学校の既存図書については、学校法人藍野大学への受入図書として精査のうえ、全学で共有できる図書データとして整備した。これにより各図書館間での図書データ連携が可能となり、利用者へのサービス提供範囲の拡大が期待される。

## (2) びわこリハビリテーション専門職大学

[中期的な計画の進捗・達成状況]

### ①教育の内部質保証、教育成果の可視化の構築

KPI	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
内部質保証体制の構築・運用	－	未着手	体制整備の完了	2021 年構築～運用～検証
IR 機能の強化、IR 情報の公開	－	設置	調査に向けた準備	毎年更新

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

教育成果の可視化	—	未着手	各種調査実施	2023 年度以降公表
----------	---	-----	--------	-------------

2021 年度実績詳細
2021 年 12 月には、2020 年度の自己点検・評価報告書を作成、公開しました。あわせて <b>内部質保証の方針、アセスメントプラン、内部質保証体系図を策定し、ホームページ上に公開</b> しました。2021 年度に設置した IR 室において、2022 年度に各種の調査を行う予定にしています。

### ②専門職大学ならではの実践的な職業訓練

KPI	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
各フィールドを利用した臨床実習	実施へ向けた調整	調整中	調整中	臨床実習の実施

2021 年度実績詳細
リハビリ専門職として、現在も臨床現場で活躍している教員（実務家教員）による講義を通じて実践的な能力を養います。 <b>2021 年度は東京オリンピック・パラリンピックの医療スタッフとして、本学教員 2 名を派遣</b> しました。このような実践的な経験は、本学の教育に反映されています。 また、実習先病院である豊郷病院とは、本学と主たる実習施設としての協定を締結し、臨床実習での連携を強化することになりました。2022 年度も複数の病院、クリニックと協定を締結する予定です。

### ③リハビリテーションを実践できる人材の養成

KPI	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
教育課程連携協議会の開催	実施方法の検討	2021 年 3 月に開催	2021 年 9 月、2022 年 3 月に実施	年 2 回の実施
教育課程の改正	なし	なし	検討開始	教育課程の改正

2021 年度実績詳細
本学は「地域共生社会の実現に資する人材の養成」を教育目標に掲げています。その目標の達成に向け、職能団体、実習先、行政の関係者及び本学教員から構成される教育課程連携協議会を設置しています。 2021 年度は 9 月と 3 月に開催し、本学の教育課程の改正へ向けた具体的な助言をいただきました。これは 2022 年度から設置されるカリキュラムワーキンググループで、完成年度後の教育課程改正の際の参考とします。

### ④開かれた大学として卒業後の知識のアップデートの支援

KPI	2019 年度実績	2020 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
滋賀県理学療法士会、作業療法士会との研修会の共催	研修内容の検討	理学療法士会との協定締結	作業療法士会との協定締結	プログラムの実施
臨床実習指導者講習会の実施	理学療法士臨床指導者講習会の実施（1 回）	理学療法士および作業療法士臨床実習指導者講習会の実施（各 1 回）	理学療法士および作業療法士臨床実習指導者講習会の実施（各 1 回）	理学療法士、作業療法士ともに年 1 回～2 回の実施

2021 年度実績詳細
滋賀県理学療法士会・作業療法士会との連携により、県下の理学療法士・作業療法士に対して研修会を実施します。滋賀県理学療法士会との協定に続き、 <b>2021 年 3 月には、滋賀県作業療法士会とも協定を締結</b> しました。 また、義務化された臨床指導者講習会は、両学科で各 1 回ずつ開催し、実習先の施設の指導者の養成にも取り組みました。2022 年度は、理学療法士臨床実習指導者講習会を年 2 回、作業療法士臨床実習指導者講習会を年 1 回実施する予定です。

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ⑤教育力、研究力向上のための組織的取り組み

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
FD・SD研修会の実施（参加率）	－	2回（68.3%）	3回	年間3回以上、オンライン参加を含め参加率100%
科学研究費補助金応募数（採択数）	－	20件（応募中※内4件は着任予定の教員による奨励研究）	15件（0件）	専任教員の90%（新規4件以上）
科研費以外の競争的研究資金採択数	－	1件	0件	2件以上

#### 2021年度実績詳細

研究活動推進の取り組みのひとつとして、2025年度には専任教員の90%以上の応募を目指して、科学研究費補助金、その他外部資金の獲得に向け、研究環境の整備を進めましたが、2021年度は科研費は15件の応募にとどまりました。また、医療、保健、健康増進などの研究分野の発展に貢献するため、本学の紀要「びわこ健康科学」の第1号の発刊を目指し論文投稿の受付を開始しました。刊行は2022年の予定です。教育力向上のためのFD・SD研修会は、2021年度は3回実施しました。

### ⑥施設更新による魅力あるキャンパスづくり

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
キャンパスの改修、機器備品の充実	設置に係る改修、機器備品の購入	設置に係る機器備品の購入の完了。教室等のAV機器の整備	老朽化した機器備品の更新	設置計画を完了し、次の整備計画を策定する
八日市キャンパスの開設	検討開始	検討中	改修案の作成	運用

#### 2021年度実績詳細

2021年度は、専門学校時代から使用し、老朽化した機器備品の更新を行いました。また、3Dデジタル教材VisibleBody、電子書籍イーブックスライブラリーや、検索サイトとしてのメディカルオンラインと医中誌Webは継続して利用できるようにしました。2024年4月から運用を開始する予定の八日市商工会議所ですが、こちらも改修計画案を作成し、順次計画を進めています。

### ⑦独自の修学支援システムを活用したキャリア支援

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
求人情報システムの更新	検討開始	検討中	新システムの決定	運用

#### 2021年度実績詳細

2021年度には新たな求人情報システムの導入を検討、決定しました。

### ⑧地元自治体・各種団体・組織・スポーツチーム等との連携強化

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
地元自治体との包括協定の締結	検討開始	東近江市、日野町との協定締結	滋賀県との協定締結	5つ程度の自治体との協定を締結
スポーツチーム・各種団体・組織等との協定の締結	1件	2件	2件	5件

#### 2021年度実績詳細

本学の目的でもある地域共生社会の実現に向け、2020年度は東近江市、日野町との間に連携・協力に関する協定を提携しました。2021年度は、滋賀県、滋賀県作業療法士会、豊郷病院とも協定を締結しました。

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ⑨学生募集の戦略的な取り組み

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
志願者倍率	0.63	1.70	1.36	2.50
滋賀県外からの入学者の比率	約10%	約15%	約7%	25%
収容定員充足率	0.48	0.73	0.79	1.10

#### 2021年度実績詳細

入学定員および収容定員数の確保は、学校経営における最重要課題です。とくに開設初年度の学生募集が振るわなかったため、完成年度以降の収容定員確保が課題です。志願者数の増加を図ることと同時に、退学者を減らす取り組みを進めていきます。

**2021年度実績（2022年度入学生）は、理学療法学科で83名、作業療法学科で28名**でした。その結果、2025年度目標の志願者倍率（2.50）、滋賀県外からの入学者の比率（25%）、収容定員充足率（1.10）に対してそれぞれ1.36、約7%、0.73となりました。

### ⑩高校との連携協定による専門職大学の認知度向上

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
高大連携校数	1校	1校（累計2校）	1校（累計3校）	5校

#### 2021年度実績詳細

2019年の近江兄弟社高校、2020年の彦根総合高校に続いて、**2021年度は光泉カトリック高等学校と協定を締結**しました。2022年度は、これらの学校でのガイダンス、出張講義等を通じて認知度の向上に努めます。

### ⑪藍野高校及び明浄学院高等学校からのグループ内進学強化

KPI	2019年度実績	2020年度実績	2021年度実績	2025年度目標
高大連携協定の締結、内部進学者の受け入れ	協定の検討開始	検討中	明浄学院高校と協定締結	内部進学者5名

#### 2021年度実績詳細

**2021年には明浄学院高等学校と協定を締結**しました。出張講義も行っており今後も継続して連携の強化に努めます。2022年には、明浄学院高等学校の生徒が本学へ学校見学に来る予定です。

### [事業計画の進捗・達成状況]

#### ①2021年度の教育研究活動と課題

開設初年度の2020年度の入学者は入学定員を大幅に下回る結果になったため、2021年度からは、公的奨学金以外に独自の奨学金制度を設けました。

2021年度の入学生は、理学療法学科89名、作業療法学科37名、計126名となり、作業療法学科で入学定員を下回ったものの、学部としては入学定員を上回る学生を迎えることができました。

しかし、2022年度は理学療法学科で83名と入学定員を超える学生を迎えることができましたが、作業療法学科では28名と昨年度を下回る結果となり、学生募集に課題が残る結果となりました。

2023年度の学生募集からは、社会人学生の募集を強化するために、社会人の学び直しを支援するスカラシップ制度を設け、学生確保に努めていくなど新たな取り組みを行います。

地域連携に関しては、行政機関としては、日野町、東近江市に続き、滋賀県とも協定を締結しました。団体では滋賀県理学療法士会に加えて、滋賀県作業療法士会とも協定を締結することができました。今後、各行政機関、団体と連携し、地域社会へ貢献してまいります。

2021年度の地域連携の主な事業としては、環びわ湖大学・地域コンソーシアムの大学地域連携課題解決支援事業に採択され、東近江市と協同で実施したプロジェクト「いきいき生活プロジェクト～頭



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

と体のリフレッシュ～」(環びわ湖大学・地域コンソーシアム 大学地域連携課題解決支援事業採択事業 補助金額 15 万円)を実施しました。

2022 年度も継続して地域連携を深化させていきます。

### ア. 学生支援体制

学生支援体制として 2021 年度に整備したものは以下のとおりです。

#### (ア) 本学独自の奨学金制度の充実

2021 年度入学生から、以下の 4 つの奨学金制度を制定しました。

- ・指定校推薦スカラシップ制度
- ・一般選抜スカラシップ制度
- ・通学費用補助制度
- ・自宅外通学者スカラシップ制度

その結果、指定校推薦スカラシップに 58 名、一般選抜スカラシップに 4 名、自宅外通学者スカラシップ対象者に 5 名、通学費補助対象者 24 名に対し奨学金を給付しました。

#### (イ) クラブ、サークル活動支援

2020 年度は新型コロナウイルス感染症の流行により、クラブ・サークル活動は行うことができませんでしたが、2021 年度は感染対策を講じつつ、クラブ・サークル活動の支援を行いました。

その結果、ゴルフ部、車いすハンドボールサークル、ボードゲームサークル、バスケットボールサークル、陸上サークルの 5 つが発足し、活動費の補助を行いました。

#### (ウ) 学習支援センター

2020 年度に設置した学習支援センターを 2021 年度は本格的に稼働させました。主な取り組みは、障がい学生支援、学習相談ですが、様々な相談に対応できる「なんでも相談員」を教職員 9 名で配置し、幅広い相談に対応できるようにしました。

### イ. 教育活動

新型コロナウイルス感染症の拡大に対応して、オンラインでの講義が可能となるように学則を改正し、メディアを利用して行う授業の実施を可能としました。すでに導入している Web 会議システム Zoom、LMS である manaba、Campus Plan 等のシステムを 2020 年度から稼働させていましたが、2021 年度はこれらをさらに効果的に活用し、学生の教育環境の向上を図りました。実際には、対面での講義を主体とし、感染が拡大した一部の期間では、オンライン講義方式、対面とオンライン双方をハイブリッドした方式なども取り入れておこないました。

臨床実習に関しては、実習支援センターを設置し、3 年次の評価実習へ向けた実習施設の確保、実習の手引き、感染対応マニュアルの作成など、実習が本格化する 2022 年度に向けて準備を進めています。

また、前述のとおり臨床実習指導者講習会を実施し、臨床実習指導者の養成に努めています。

学科では、学生の満足度向上を目指し、学年担任を置き、学生の出席や学習状況、不安などの情報に対して素早い対処ができる体制を整えました。また、学科会議で学生の情報を共有し、成績低迷者に対して、担任と学習支援センターが中心となって学習面についてサポートしています。

次年度からチューター制度を導入し、学習面はチューター、生活面と保護者対応を担当と分担して対応する計画です。

その他、教員の教育・研究能力の向上を目的とし、2021 年度中には 3 回の FD・SD 研修会を実

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

施しました。活動に関しては、以下のとおりです。

年月日	テーマ
2021年7月19日（月）	科研費申請のためのコンプライアンス 申請書の書き方基本 山田久夫
2021年7月30日（金）	大学教育「医学教育の経験から」 山田久夫 学習成果の可視化と学修行動調査の報告 中村剛至
2021年9月7日（火）	研究倫理について 山田久夫 研究倫理研修 埴田和史

教育環境に関しては、2021年度も引き続き教育環境の充実を図るため機器備品の導入を進めました。主な導入機器は以下のとおりです。

	機器名
1	心電図エアロモニタ
2	重心動揺計
3	ティルト&リクライニング車いす
4	電動車いす JW アクティブ PLUS
5	新リクライニング車いす
6	小児用座位保持装置
7	介護用リフト
8	体圧分散センサー（全身版）SR ソフトビジョン

上表の機器備品以外に 2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による遠隔授業への対応のため、授業録画用のビデオカメラや教室の機器を追加しました。

2022年度は経年的に整備を進めている駐車場整備や実習室等の AV 機器の設置、Wi-Fi 環境の整備を進めていく予定です。

### ウ. 入試広報

#### （ア）入試

入試制度自体の大幅な変更はなく、各入試区分の試験内容を変更しました。特に総合型選抜入試では、新たにプレゼンテーションを導入し、理学療法士、作業療法士を目指す意欲の高い生徒の確保に努めました。

#### （イ）広報

広報活動については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が著しい時期を除き、学校訪問、オープンキャンパス等は可能な限り通常通り行いました。オープンキャンパスについては回数を増やし、参加者増を図りました。その結果、2020年度より49名の参加者増となりました。

県外への広報活動も行いましたが、結果としては県外からの入学者数は2020年度より減少し、課題の残る結果となりました。

#### （ウ）高大連携

高大連携では、2019年度の近江兄弟社高校、2020年度の彦根総合高校に続き、2021年度は光泉カトリック高校、明浄学院高校と協定を締結しました。今後、これらの協定校には出張講義やガイダンス等を行い、本学への入学を促進します。

### エ. 地域連携

地域連携事業としては、前述のとおり滋賀県を含む以下の3団体と協定を締結しました。また、東近江市と協同で実施している「いきいき生活プロジェクト」の他、北坂地区の地域高齢者に対し



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

て実施している「びわこいきいき体操」も、2021年度は春と秋に月2回実施しました。

区分	協定先	協定名
行政	滋賀県	滋賀県とびわこリハビリテーション専門職大学との連携・協力に関する包括協定書
団体	滋賀県作業療法士会	学校法人藍野大学びわこリハビリテーション専門職大学と一般社団法人滋賀県作業療法士会の提携に関する協定書
団体	豊郷病院	豊郷病院とびわこリハビリテーション専門職大学との連携協力に関する協定書

### オ. 研究活動

研究活動を促進するため、2021年12月に2名の客員教授の招聘、フレイル・認知症の研究のために、フレイル・認知症予防研究センターの設置をしました。2022年度はセンターを本格的に稼働させ、外部資金の獲得を目指します。

2021年度の競争的資金（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金、厚生労働科学研究費）の交付額は、研究代表者として10,360千円（総件数7件）であり、研究分担者として1,504千円（総件数6件）となりました。

応募件数20件に対し、新規採択件数は、研究代表者として、基盤研究（C）3件、奨励研究1件でした。

これ以外に奨学寄付金として、株式会社吹き戻しの里からフレイル・認知症予防研究に対して提供されました。

	研究種目	研究課題名	交付金額（円）
二〇二二年度新規採択	基盤研究（C）（一般）	終系中心管上衣細胞による神経再生の解析—脊髄損傷の治療に向けて—	1,400,000
	基盤研究（C）（一般）	脊髄損傷の治療に向けた新しい移植細胞の開発	1,500,000
	基盤研究（C）（一般）	脳卒中の手の障害に対する介助型ウェアラブルデバイスを用いた在宅訓練の確率	1,200,000
	奨励研究	重度肢体不自由者のWEBを用いたスポーツ参加の実施とその効果に関する研究	460,000
継続課題	基盤研究（B）（一般）	社会性低下の神経機構の解明と臨床介入による検証	4,300,000
	基盤研究（C）（一般）	呼吸循環フィットネスを評価する新しい指標の多角的検討	900,000
	若手研究	優れた敏捷性を生み出す動作方略の解明—新規開発の反応敏捷性テストを用いて	600,000
延長課題	基盤研究（C）（一般）	ストレスによる機能性胃腸症の発症メカニズム解明とイメージングバイオマーカーの開発	
	基盤研究（C）（一般）	発達障害・他がある子どもと養育者の地域包括ケアに生かす外出に関する質問紙の開発	
	挑戦的研究（萌芽）	大和言葉を手掛かりとした日本人の身体名称、および身体観についての研究	

### (3) 藍野大学短期大学部

[中期的な計画の進捗・達成状況]

#### ①教育の効果に関すること

メディカル・ヘルスイノベーション研究所における各講座の設立・運営及びあいの発達支援リハビリ訪問看護ステーションの月平均利用者数については、目標を達成できていることから今後も継続していく。内部質保証システムによるPDCAサイクルの実行については組織体制を構築したが、PDCAサイクルの実行は未実施であるため、2025年に向けて実施する。

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### ②教育課程と学生支援に関すること

公開講座件数、連携強化地域及び人間力向上に向けた研修の開催については、昨年から大きな変化は見られなかったため、今後目標に向けて実施する。シラバス作成マニュアルの整備は、目標を達成しているため、今後も継続して整備する。退学者・休学者については、目標に向けて減少している。国家試験合格率は、専攻科は目標達成し、第一看護学科・第二看護学科は 2025 年度に向けて、今後も対策を実施していく。

### ③教育資源に関すること

高大連携協定校の数、明浄学院高等学校からの第二看護学科への進学者数については、昨年から大きな変化はない。そのため、目標に向けて今後再検討する。研究活動の向上に向けた学内研修会は開催したが、研究発表会は開催を見送ることとしたため、今後実施する。年間の FD・SD 研修開催件数については、目標を上回る回数を実施しているので、今後も継続していく。短期大学の移転については、プロジェクトを立ち上げ、目標となっている個人研究室を完備する計画で進めており、2024 年度の移転完了に向けて継続して準備を行う。

### [事業計画の進捗・達成状況]

#### ①教育の効果に関すること

KPI	2021 年度計画
各講座の設立・運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>メンタルヘルス領域において公開講座を企画</li> <li>グリーフケアに特化したカウンセリングルームの設置</li> <li>傾聴ボランティア養成講座開講に向けた取り組み</li> <li>専攻科との協同による専攻科学生を対象とした講座の実施</li> </ul>
月平均利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいの発達支援リハビリ訪問看護ステーションの月平均利用者数の増加</li> </ul>
内部質保証システムによる PDCA サイクルの実行	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己点検・評価委員会における内部質保証システムの構築</li> <li>一般財団法人短期大学基準協会の第三者評価の結果を踏まえた課題点の検証</li> </ul>

2021 年度実績
<p>メディカル・ヘルスイノベーション研究所における各講座について、メンタルヘルス領域では、地域連携推進室との共催で、<b>第 1 回メンタルヘルスセミナー「新型コロナウイルス感染症パンデミック後の準備～心の健康を維持するために～」</b>（講師：足利学科長）を開催した。当日は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「Zoom」を活用した Web 開催だったが、<b>地域住民 100 名の方に参加</b>があった。</p> <p>また、<b>専攻科（地域看護学専攻）では、ゲートキーパー養成講座、認知症サポーター養成講座を実施</b>した。特に、<b>メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種、Ⅲ種を専攻科の半数以上の学生が取得</b>出来た。</p>

#### ア. ゲートキーパー養成講座

日時	内容	参加学生数
2月18日	大阪府版ゲートキーパー養成研修 ①基礎情報編（中級） ②見るロールプレイ	32名

#### イ. 認知症サポーター養成講座

日時	参加学生数
7月14日	40名

#### ウ. メンタルヘルス・マネジメント検定

	受験者		合格者	
	Ⅱ種のみ	Ⅲ種のみ	Ⅱ種	Ⅲ種
Ⅱ・Ⅲ両方	1名	0名	26名	29名
30名				

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

子育て・発達支援領域で運営しているあいの発達支援リハビリ訪問看護ステーションでは、**2021年4月1日～2022年3月31日の訪問件数は延べ1,800件で、月平均の利用者数も増加傾向**にある。一方で2020年1月頃から利用者や保護者が新型コロナウイルスに罹患あるいは濃厚接触者に認定されるケースが増え、月に50件程度の訪問キャンセルがあった。また、就学児（小学生以降）の訪問時間が学校の都合で16時以降に希望されることが多く、平日午前中の訪問枠を確保することが困難なため、今後検討していく。さらに、利用者数を増やすためには、未就学児や不登校児童・生徒を積極的に受け入れる工夫が必要であり、今後の課題となっている。

2021年度は、**教学マネジメント及び内部質保証における組織体制を構築し、合同運営会議を教学の最高意思決定機関として運営**していくこととした。今後は、教育・研究活動等を点検・評価するための具体的なシステムの構築に着手し、2024年度に受審する大学・短期大学基準協会の第3期認証評価に向けて、様々な取り組みについての点検・評価を実施していく。

### ②教育課程と学生支援に関すること

KPI	2021年度計画
公開講座件数	・認知症予防や高齢者の生活にかかわる公開講座の計画と開催 ・ファミリーサポート講座「子どもの健康」及び子育て支援講座「ベビーマッサージ」の開催
連携強化地域	・茨木市とのさらなる連携強化 ・大阪狭山市の子育て支援事業への協力による、地域支援の推進と連携強化
人間力向上に向けた研修の開催	・人間力の向上に資する教育・研究を実践するための研修の計画と開催 ・早期入学決定者に対する事前課題、模擬試験の実施による個々の不得手な部分の可視化
シラバス作成マニュアル整備	・シラバス作成マニュアルの見直しと記載事項の統一
退学者・休学者の減少	・基礎学力向上のための、入学前教育、リメディアル教育の拡充 ・入学前教育による入学後のリメディアル教育への接続と大学教育へのスムーズな接続による中退者の減少
入学初年度における休退学率	・2019年度の休退学率6.5%を上回らない。
国家試験合格率	・国家試験合格率向上のための外部講師による国家試験対策講義の実施 ・模擬試験等の結果によるクラス分け、個別指導による学力の引き上げ

2021年度実績
<p>2021年度も新型コロナウイルス感染症のまん延のため、2020年度に引き続き地域連携活動は規模を縮小しての実施となった。</p> <p>大阪茨木キャンパスにおいては、主に地域の高齢者の方を対象とした「健康長寿講座」はすべて中止とし、例年専攻科が主催しておこなう「子育てサロンだっこ」は、参加者に対する手紙での情報交換のみとし、参加者が集まっていた開催は中止とした。</p> <p>大阪富田林キャンパスにおいては、十分に安全対策を講じたうえで、10月6日に大阪狭山市のファミリーサポートセンターと協同してファミリーサポート講座「子供の健康」を実施し乳児の母親・祖母9名の参加があった。12月8日に同子育て支援センターと協同して子育て支援講座「ベビーマッサージ」を実施し乳児・母親8組の参加があった。</p> <p>シラバスについては、認証評価において「成績評価の方法」「授業時間外の学習」が適切に記載されていないとの指摘を受けたため、2020年度に見直しを図り<b>2021年度には『シラバス作成の手引き』の改正を行った。</b></p> <p>評価の方法については、出席点は評価に課さないこと、評価の割合とフィードバックの方法を記載することを求めた。授業時間外の学習については、記載例を添えて、具体的に内容を記載することを求めた。その結果、すべてのシラバスが改善するに至った。</p> <p><b>第一看護学科は、入学前教育の結果を入学後のリメディアル教育に繋げ、大学教育へのスムーズな接続を図った。第二看護学科では新しい取り組みとして、外部予備校と連携した入学前教育を開始し、大学の予習と高校までの復習をバランスよく行い基礎学力の向上を図った。</b>またリメディアル教育では、夏期休暇特別講座として実施した「国語」「生物」5日間12コマの受講率は90%以上となった。</p> <p>それらの結果の1つとして、2021年度の入学初年次休退学率は2019年度より減少したが、依然として退学理由に「学力不足」が挙げられているため、更なる検討を要する。</p> <p><b>チューター教員による定期及び必要時の面接指導</b>により、モチベーションの維持に努めた。その結果、<b>2019年度の休退学率6.5%を下回り、2021年度は5.4%</b>となった。</p> <p>2021年度の両学科の退学理由は、学力不足、修学意欲の低下が半数以上を占めていることから、2022年度もチューター教</p>

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

員による面接を継続し、補充授業や個別指導、教職員とのコミュニケーションを強化していく。

コロナ禍で国家試験が実施されるなか、心身の健康管理に努め、受験を申し込んだ卒業見込者全員が受験することができた。**2021年度看護師国家試験の新卒合格率は、2020年度と比較すると、第二看護学科と専攻科は上回る結果となり、第一看護学科は下回った。専攻科については100%を達成している。**

学生の学力や授業への参加意欲の差が大きく、講義内容を理解しきれない学生もいたため、学生や指導にあたる学内教員にアンケート等を実施し、国家試験対策の問題点や改善点を抽出・共有し、改善に向かう施策の検討を行う必要がある。

### ア. 2021年度 看護師国家試験の結果

	新卒			既卒		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
第一看護学科	78名	62名	79.5%	17名	9名	52.9%
第二看護学科	65名	61名	93.8%	6名	5名	83.3%

### イ. 2021年度 保健師国家試験の結果

専攻科	新卒		
	受験者	合格者	合格率
	40名	40名	100.0%

### ③教育資源に関すること

KPI	2021年度計画
高大連携協定校の数(累積)	<ul style="list-style-type: none"> <li>高大連携協定校のさらなる拡大と連携授業等の実施</li> <li>高校生が短期大学部での学びに対する理解を深め、自発的に将来の進路について考えることができるプログラムの推進</li> <li>より一層高大連携を強化するための藍野大学短期大学部と藍野高等学校の教育職員の情報交換会等の実施</li> </ul>
明浄学院高等学校から第二看護学科への進学者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>明浄学院高等学校から第二看護学科への進学への道筋の構築</li> </ul>
研究活動の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究支援体制を整備し、全教育職員に対する研究倫理教育やコンプライアンス教育の充実</li> <li>研究倫理委員会とFD推進委員会の連携による研究倫理とコンプライアンスの徹底</li> <li>研究活動向上に向けた学内研修会の開催や学内における研究発表会の開催</li> <li>学術研究への取り組みの促進による科学研究費助成事業等外部資金の獲得に向けた支援</li> </ul>
年間のFD研修開催件数	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育力の向上を目的としたFD研修会の定期的な開催</li> <li>研究力や教育力、人権力の向上を図るための学内外の講師による研修会の計画と開催</li> <li>「教職協働」を目指すため、FD研修会のテーマに応じた教育職員と事務職員の合同研修の実施</li> </ul>
短期大学部の移転	<ul style="list-style-type: none"> <li>2020年度に設置した短期大学部移転プロジェクト会議における、2024年の移転に向けた検討</li> </ul>

### 2021年度実績

本学と高大連携協定書を締結している高等学校は7校（藍野高等学校、明浄学院高等学校、樟蔭高等学校、羽衣学園高等学校、大阪緑涼高等学校、大阪府立東淀川高等学校、奈良文化高等学校）である。高大連携については拡大を行う予定であったが、**2021年度においては、コロナ禍の状況により現状維持**となった。高校内での講座等の実施についても縮小せざるを得なかったが、樟蔭高等学校においては、身近な出来事から将来の進路としての看護師を見つめてもらうための講座を2020年度に引き続き実施した。

### ア. 2021年度中に実施した高大連携講座等一覧

高校名	日程	内容
藍野高等学校	6月26日	高等学校保護者懇談会に参加 〔対応者〕第一看護学科長、学科長代理、学科長補佐、入試広報グループ職員 〔内容〕学科紹介、入試ガイダンス、質疑応答 3年生生徒103名、保護者92名
	5月11日	明浄学院高等学校新パンフレット撮影協力
明浄学院高等学校	6月24日	講演「看護師への道」：第二看護学科長 1年生～3年生 全校生徒

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

樟蔭高等学校	6月22日	講座・体験「災害看護」 1・2年生 看護系進学コース 45名
	6月29日	講座・体験「災害看護」 3年生 看護系進学コース 31名
	9月7日	講座・体験「高齢者体験」：老年看護学領域 1・3年生 看護系進学コース 48名
	10月26日	講座「いのちを考える」：母性看護学領域 1・2年生 看護進学コース 40名
	1月25日	講座「いのちを預かる看護師」：小児看護学領域 2年生 看護進学コース 22名
大阪緑涼高等学校	1月28日	講座「看護は、すてきなお仕事！」 1年生 11名
羽衣学園高等学校	7月27日	高校内ガイダンス（入試に向けて進路選択をする上で今後しておくべきポイント） 2年生 15名
大阪府立東淀川高等学校		実施無し
奈良文化高等学校		実施無し

また、2022年4月から法人変更により本法人の設置校となる明浄学院高等学校に対して、本法人となって初めての入学生でもある2022年度入学生が短期大学部進学となるまでに、新たな入試制度を軸として、看護師への道筋を確立する事で調整しており、それまでの生徒に対しては現状の入試制度等を活用していく事とした。

### イ. 2021年度 オープンキャンパス参加者・資料請求数対比

入試状況			2021年	2020年	2019年	2018年
第一看護学科	来場者数	延数	147	98	113	130
		実数	86	70	93	125
	資料請求者数		175	168	215	195
第二看護学科	来場者数	延数	194	198	235	186
		実数	144	148	199	151
	資料請求者数		5,676	4,686	4,563	3,462
専攻科	来場者数	延数	678	358	200	158
		実数	234	187	168	142
	資料請求者数		594	560	418	487

### ウ. 2022年度入学生 入学試験状況

入試状況				2022年	2021年	2020年	2019年
第一看護学科	志願者数	延数合計		131	169	95	109
		実数合計		130	155	95	109
		実数 内訳	衛生看護	112	128	87	92
			養成校	18	27	8	17
	入学者数			124	140	92	98
	入学定員充足率(%)			124.0	140.0	92.0	98.0
第二看護学科	志願者数	延数合計		141	146	175	187
		実数合計		133	140	152	159
		実数 内訳	高校生	113	125	139	131
			社会人	20	15	13	28
	入学者数			93	100	96	89
	入学定員充足率(%)			116.25	125.0	120.0	111.25
専攻科	志願者数			374	279	228	228
	入学者数			39	40	40	40
	入学定員充足率(%)			97.5	100.0	100.0	100.0



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

全職員に対して、研究者としての意識向上を図るため、研究倫理教育とコンプライアンス教育を行った。研究活動向上に向けた学内研修会は、藍野大学開催の「科研費公募説明」に参加した。さらに、本学のFD・SD推進委員会における学内研修会では「科研費の獲得」を主催した。

また、FD・SD推進委員会による研究発表会を学内にて予定していたが、今年度は開催を見送る形となった。研究支援体制の具体的な活動については、今後も継続して検討を進める予定である。加えて、今年度は学長、副学長主導のもと、教員2名が科学研究費助成事業に応募した。結果は、採択に至らなかったが、次年度においても引き続き積極的な取り組みの促しに努める。その他、本学では教員の学位取得を推進しており、2022年3月には1名が修士を取得した。

教育力の向上を目的とし、定期的なFD・SD研修会を7回開催した。本学独自の研修のみならず、藍野大学や法人事務局で開催されたFD・SD研修会へも積極的に参加した。新型コロナウイルス感染症の影響により、対面による研修が困難であったが、「Zoom」を使用することにより、大阪茨木キャンパスと、大阪富田林キャンパスが同時に研修を共有することができた。

今後も、FD・SD活動の推進と、研究倫理委員会の協力のもと委員会の運営を行う。

### エ. 2021年度 FD・SD研修一覧

回	日程	内容	講師
1	4月21日	「配慮が必要な大学生に対する授業方法とクラス経営」	桃山学院教育大学 人間教育学部 教授 松久眞実先生
2	5月12日	「合理的配慮から面倒見の良い教育へ」	足利学科長・専攻科長
—	7月13日	第2回 藍野大学FD・SD研修 統合指針「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」施行と研究倫理審査申請書作成の基本とコツ	中央研究施設 施設長・臨床工学科 教授 水谷陽一先生
3	8月4日	「大学における発達障がいのある学生の修学支援の実践と課題」	関西大学学生相談・支援センター 精神／発達障害担当支援コーディネーター 近森聡先生
4	8月16日	「科学研究費公募説明」	大阪茨木キャンパス事務局 大学・短期大学部事務センター 学生支援グループ 石川係長
5	8月24日	「人権教育」、「研究倫理教育」、「コンプライアンス教育」（大阪茨木キャンパス）	飯田英晴副学長
6	8月25日	「人権教育」、「研究倫理教育」、「コンプライアンス教育」（大阪富田林キャンパス）	飯田英晴副学長
7	9月22日	「科研費の獲得」	藍野大学 医療保健学部 看護学科 本多学科長
—	12月23日	教学マネジメントの意義と体制 医療系大学に求められる教学マネジメント～学生の声を集める方法を中心に～	愛媛大学 教育・学生支援機構 中井俊樹先生・竹中喜一先生
—	2月28日	教学マネジメントとIRの活用～教育と経営の視点を踏まえた～	愛媛大学 教育・学生支援機構 竹中喜一先生
—	3月23日	「教学マネジメントの確立に向けて」～内部質保証の有効性と教職協働～	愛媛大学 教育・学生支援機構 阿部光伸先生

2025年4月の大阪阿倍野キャンパスへの短期大学部移転について、以下の内容が短期大学部移転プロジェクトにおいて決定し、進行している。

- (ア) 各部屋の配置等の改修案を策定し、その案を基に基本設計図面の作成を進めている。詳細は今後の課題ではあるが、各フロアの配置についてはおおよそ確定した。
- (イ) 移転案が予定通り進んだ場合は、以下のような通学スケジュールで実施することに決定した。



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### オ. 新キャンパスへの年度別通学状況

学科	入学年度	通学状況
第一看護学科	2023年度	1・2年次共に大阪茨木キャンパスに通学
	2024年度	1年次は大阪茨木キャンパス、2年次は大阪阿倍野キャンパスに通学
	2025年度	全学年共に大阪阿倍野キャンパスに通学
第二看護学科	2023年度	1・2年次は大阪富田林キャンパス、3年次は大阪阿倍野キャンパスに通学
	2024年度	1年次は大阪富田林キャンパス、2・3年次は大阪阿倍野キャンパスに通学
	2025年度	全学年共に大阪阿倍野キャンパスに通学
専攻科（地域看護学専攻）	2023年度	大阪茨木キャンパスに通学
	2024年度	大阪茨木キャンパスに通学
	2025年度	大阪阿倍野キャンパスに通学

#### (4) 藍野高等学校

##### [中期的な計画の進捗・達成状況]

##### ① 高大連携による重層的かつ一貫性のある教育システム

本校は藍野大学、藍野大学短期大学部のアドミッションポリシーを踏まえ、グループとして育成を目指す人材像を共有し、教育の連続性によって共通化される教育システムを構築すべく、2025年度目標の結果検証に向けて2021年度は藍野大学短期大学部との連携協定を結ぶ取り組みを行いました。

##### ② 藍野大学・藍野大学短期大学部へのグループ内進学強化

藍野大学、藍野大学短期大学部他の内部進学を行うべく、高大連携協議会を定期開催し、内部進学に関する成績条件面など協定内容の調整を進め正式な内部進学協定の締結をしました。本校としては、藍野大学への内部進学を希望する生徒には、その進学条件に適合させるための進路指導を行い、高大間合計7年での医療人材育成を行うシステムを強化していきます。

2025年度目標の内部進学者数100名以上に向けて、準備を進めましたが、2021年度の内部進学者数は卒業生104名中、96名（藍野大学短期大学部第一看護学科95名、藍野大学医療保健学部看護学科1名）となりました。

##### ③ 学習到達目標の設定による生徒の意欲と自己学習能力の向上

メディカルサイエンスコースでは各教科の基本プランの充実を促し、学習到達目標の設定を数値化、各学年での目標を明確にすることにより、生徒の学力向上やスキルアップを図るべく教育指導を行っています。

##### ④ 医療職の実情を体感し、能力・適性にあった進路決定の支援

メディカルサイエンスコースでは、グループ校と連携した授業を展開し、看護系だけではなく医療職の知識を高めることで、自身に適した医療職を探求することを目標としています。大学入試の要件として、キャリアパスポートを導入し、学習成果の可視化ができる環境を整えることを2025年度目標としています。

##### ⑤ 衛生看護科の特徴を活かした生徒募集

入学した生徒のカリキュラム面での満足度を高めるとともに、藍野大学短期大学部への内部進学をはじめ、藍野大学等グループ内設置校への進学、その他進学面の指導において実績を上げ、さらに、高大連携の熟成を高め、新たなICT教育環境を整備活用したきめ細かい指導など本校独自の取り組み

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

をPRすることで志願者増につなげることを目指しています。2025年度目標の志願者数170名以上に對して、2021年度の志願者数は、173名となりました。新たなICT教育環境を整備活用したきめ細かい指導については、現在、導入ツールSlac等のマッチングなど考察を行っています。

### ⑥校舎の老朽化への対応

現在の校舎は開学前からの残存建築物の流用であることから、老朽化への対応と共に耐震化対策が喫緊の課題です。2024年4月より新校舎への移転方針が機関決定されており、2021年度は法人事務局と協力し具体的な移転計画に向け新校舎及びそれに伴う機器備品等の具体的準備を開始しました。

### [事業計画の進捗・達成状況]

#### ①教育活動

藍野高等学校（以下「本校」という。）で学ぶ生徒の「興味・関心」、「能力・適性」等の多様化が顕著となる中で、将来を見据えた生徒一人ひとりの可能性を引き伸ばす教育を実践し、一般教科の基礎・基本的学力の定着と、看護教科の専門知識（衛生看護コース）、並びに各医療専門職に関連した知識（メディカルサイエンスコース）の習得を目標にした取り組みを行いました。

本校では、基礎学力の高い生徒（入学時の成績）の割合が年々多くなってきている一方で、下位層の生徒も例年一定数入学してきている現状があります。本校が継続的に取り組む大きな課題として、上位層の学力をより一層伸ばすとともに、下位層の基礎学力を引き上げていく必要があります。そのため、衛生看護コースにおいては、単に「准看護師試験合格」を目指すのではなく、卒業後、大半の生徒が進学する藍野大学短期大学部での「看護師国家試験合格」に繋げるため、一般教科での基礎学力の更なる向上と、看護教科においては高等学校卒業時における「看護師国家試験の必須問題」クリアを目標に下記のような取り組みを行いました。またメディカルサイエンスコースにおいては、「総合的な探究の時間」を活用して藍野大学との高大連携による論理的な思考を育てる授業を展開し、生徒個々の能力や職業適性を磨き、将来の職業選択のための幅を広げることができるような取り組みを行いました。

#### 一般教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・基礎力・実力診断テスト（英・数・国）の実施による生徒の学力把握と補習を含む学習指導の強化
- ・基礎力・実力診断テストによる学力グループの編成と検証
- ・定期考査の補習充実
- ・長期休暇中の課題・補講の実施
- ・学力底上げのための教材準備
- ・学習意欲の高い生徒への支援教材の作成
- ・朝学習の実施（生徒の主体的な学習の取り組み）

#### 看護教科の主な取り組み

- ・シラバスの作成（学習指導要領に即しているか）
- ・教科研修会への積極的な参加
- ・准看護師試験模擬試験の実施（1年生から計画的に実施）
- ・定期考査の補習充実

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

- ・長期休暇中の准看護師試験対策に関する補講（習熟度別）の実施
- ・看護レポートの書き方等についての表現力養成講座の実施

教育の内容・水準を担保するため、高等学校学習指導要領に沿った内容の授業が展開することはもちろん、より生徒の満足度を高めるための努力を行いました。具体的には、基礎力・実力診断テスト、定期考査の結果を受け、速やかに個別面談を行うとともに成績に応じた適切な教材を作成し、補講を行なうことで基礎学力を固めるとともに学習意欲の向上を図りました。また、教員の資質向上を図るため、教科研修会等に担当教員が積極的に参加し、その成果を教科指導に生かす取り組みなどを行いました。

一方、本校の教育方針である「高い学力と豊かな人間性を備え、将来の社会に貢献できる自立した医療人を育成する」の一環として、基本的な生活習慣とマナーの確立、自主性・主体性の伸長を目指し、挨拶の習慣化や家庭との連携を密にすることに努め、委員会活動・学校行事を通し指導を行いました。

本校の組織運営体制の改善・充実を図るために、学校評価（自己評価・学校関係者評価）を前年度に引き続き実施しました。引き続き PDCA サイクルの意識を高め、改善を進める体制を継続しています。看護専門科目については、以下の「教科目標」を定め、昨年度同様に継続して実施しました。

### 教科目標

看護医療に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、看護の本質と社会的な意義を理解させるとともに、国民の健康の保持増進に寄与する能力と態度を育てることを目標としています。

#### ア．基礎看護

看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解させるとともに、日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的な知識と技術を習得させ、看護を適切に行う能力と態度を育てる。

#### イ．人体と看護

看護を実践するために必要な人体に関する知識を習得させ、人体と生活及び環境との関係について理解させる。

#### ウ．疾病と看護

看護を実践するために必要な疾病、治療及び薬物に関する知識を習得させ、これらと疾病からの回復を促進させるための看護との関連について理解させる。

#### エ．生活と看護

看護を実践するために必要な精神保健、生活者の健康及び社会保障制度に関する知識を習得させ、社会生活における医療と保健及び福祉との関係について理解させる。

#### オ．成人看護

成人の心身、生活、保健及び疾病について理解させ、成人の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

#### カ．老年看護

高齢者の加齢、生活、保健及び疾病について理解させ、高齢者の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

#### キ．精神看護

精神看護の意義と役割及び精神に障害のある人の看護の実際を理解させ、精神看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

#### ク．在宅看護

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

在宅看護の意義と役割及び看護の実際を理解させ、在宅での看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

### ケ．母性看護

母性の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、母性の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行うために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

### コ．小児看護

小児の特質、生活、保健及び疾病について理解させ、小児の看護に関する知識と技術を習得させるとともに、その看護を行なうために必要な基礎的な能力と態度を育てる。

### サ．看護臨地実習

看護に関する各科目において習得した知識と技術を臨床の場で活用し実践する経験を通して、看護観をはぐくみ、問題解決の能力を養うとともに、チーム医療に携わる様々な職種の役割及び保健医療福祉との連携・協働について理解し、臨床看護を行うために必要な能力と態度を育てる。

### シ．看護情報活用

社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、情報の活用に関する知識と技術を習得させ、看護の分野で情報及び情報手段を主体的に活用する能力と態度を育てる。

## ②生徒指導・生徒支援体制

### ア．カウンセリング機能（相談体制）の充実と生活指導の強化

本校では、生徒の修学や日常的な場面の悩みなどに対して、適切かつ迅速に対応し、生徒が安心して学習に取り組むことができるように、継続した取り組みとして「心の専門家」である臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、生徒指導担当等の教員と協力のうえ、学校内におけるカウンセリング機能（相談体制）の充実を図っています。

また、初期対応を重要視し、担任、生徒指導担当及び看護教員並びにスクールカウンセラーの定期的なミーティングにより生徒個々の特性を共有するなど、早期からの相談体制の継続した取り組みを行いました。

併せて、将来の医療人として、挨拶、身だしなみ、基本的な社会規範や生活習慣を身に付けさせるための生活指導の強化に努めました。

### 2021年度 スクールカウンセラー相談件数（前年度対比）

実施時期	延べ件数		増減
	2021年度	2020年度	
4月～6月	24	30	△6
7月～9月	22	24	△2
10月～12月	30	29	1
1月～3月	12	20	△8
合計	88	103	△15

### イ．経済的支援

「学業成績優秀学生生徒給付奨学金制度」により、2年次以上の学業成績が優秀であり勉学意欲の旺盛な生徒5名（2年生3名、3年生2名）が本奨学金の給付を受けました。

## ③准看護師試験

今年度は4～5月の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による休校期間などがあり、准看護師試験

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

対策の遅れが出て例年より厳しい状況となりましたが、直前の習熟度別の個別指導に力を入れるとともに、関西広域連合以外の他府県の准看護師試験についても積極的に受験するよう指導しました。結果として、関西広域連合等実施の准看護師試験では104名全員が合格することができました。

### 2021年度卒業生 准看護師試験の結果

学 科	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）
衛生看護科	104	104	100

### ④進学・就職状況

#### 2021年度 衛生看護科進学・就職状況

卒業生数（人）	進学者数（人）	就職者数（人）	未定（人）
104（123）	102（121）	2（1）	0（1）

※カッコ内の数値は前年度

### ⑤自己評価の実施

学校教育法及び同施行規則の学校評価に関する規定に基づき、2020年度の教育活動その他の学校運営状況について設定した目標や具体計画の達成状況、取り組みの適切さ等の自己評価を行ないました。その結果を、保護者等による学校関係者で教育活動の観察や意見交換等を通じて評価を行ない、学校の状況に関する共通理解と連携体制を築くことができました。

また、その結果を対外的にも情報公開し、学校としての説明責任を果たすよう努めました。

### ⑥生徒募集活動

2021年度は、大阪で唯一准看護師の資格取得が可能である「衛生看護コース」に限定し生徒募集を行いました。

藍野大学短期大学部第一看護学科（准看護師から看護師を養成する2年制コース）への進学により中学校卒業後5年間での看護師養成が可能であることを強くアピールできたことは、生徒募集面で好影響をもたらしました。

具体的な募集活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオープンスクールの実施や従来型の中学校訪問活動において、昨年同様に多大な制約を余儀なくされました。その中で本校は、昨年同様の施策として本校の特徴や様子を伝えるための動画制作に注力し、YouTube上への掲載と、中学生や保護者が利用している各種SNSの掲示板等を積極的に活用するPR戦略を展開しました。本校教員による授業動画、学内実習の様子、学校までのアクセス、オープンスクールに参加できなかった中学生のための当日の内容紹介、等々をコンテンツとした専用チャンネルを立ち上げ、7本以上の動画を掲載しました。合計6,136回以上（2022年3月15日現在）の再生回数が記録され、広報ツールとして特筆すべき効果をあげました。

さらに、集客力の高い外部の合同説明会等の外部イベント（大阪私立学校展、東淀川区PTA協議会説明会・五木書房主催進学相談会・和歌山県中学校長会等）に積極的に参加するとともに、難しい訪問環境の中、従来型の中学校訪問や学習塾へのアプローチも可能な限り実施しました。

こういった取り組みが奏功し、最終的には出願者173名（昨年度153名）、入学者数150名（昨年度134名）の結果が得られました。近畿圏の看護系高等学校や大阪府内私立高等学校の約半数が定員割れとなる中で、極めて顕著な募集成果として各校からの注目を浴びる結果となりました。



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

### (5) 管理運営の取り組み

[中期的な計画の進捗・達成状況]

#### ①教職員の採用・育成

面倒見の良い学校づくりを進めるためには、教員及び事務職員が本法人に定着し、教育サービスや学修支援サービス等を安定的に供給する必要があります。そのため、教員及び事務職員の平均勤続年数を KPI として設定し、目標値を達成するために、労働条件の改善や働き方改革を進めることとしました。2021 年度における具体的な取り組みとしては、以下の点に取り組みました。

KPI	2019 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
教員の平均勤続年数	7 年 11 ヶ月	8 年 1 ヶ月	10 年 0 ヶ月
事務職員の平均勤続年数	8 年 1 ヶ月	10 年 1 ヶ月	10 年 0 ヶ月
人事評価の総合評価が B 以上の者の割合	29.8%	26%	45%

2021 年度実績詳細
<p>2021 年度の達成状況としては、<b>教員の平均勤続年数は 8 年 1 ヶ月、事務職員の平均勤続年数は 10 年 1 ヶ月</b>となりました。2021 年度における教員及び事務職員の平均勤続年数は、2020 年度実績と比較し、増加傾向となりました。また、本法人の経営基盤を安定化させ、充実した教育サービスを学生・生徒に提供するためには、事務職員の資質と能力の向上が不可欠です。そのため、事務職員における人事評価の総合評価が B 以上の者の割合を KPI として設定しています。目標値を達成するために必要な SD 研修等を実施すべく、2021 年度においては「<b>内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制の構築に向けた研修会</b>」を実施しました。</p>

#### ②安定した財務基盤と積極的な投資

KPI	2018 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
経常収支差額比率	9.2%	5.2%	6.2%
教育研究経費比率	25.9%	29.8%	32.0%

KPI	2019 年度実績	2021 年度実績	2025 年度目標
ファシリティ維持・更新計画の策定	随時対応	大阪阿倍野キャンパスプロジェクトの推進	過年度実績より LCC の標準額を算出し、それに基づく額を予算化します
卒業生・在学生保護者との連携強化策の策定	未実施	Slack ゲストアカウント及び Google Workspace アカウントの物理的な供給準備	連携施策の実施

2021 年度実績詳細
<p>今後の成長に必要な財政基盤の確立を目指して、収入の増加（入学者の確保、未納者及び中途退学者の低減と同時に、補助金や付随事業による収入の拡充に努める）、経費の節減に努めていますが、<b>2021 年度の経常収支差額比率は 5.2%</b>となりました。2025 年度の目標である 6.2%に向け、引き続き事業計画の適正履行に努めてまいります。教育・研究の充実に向けた積極的な投資戦略については、その一つとして、2020 年度から M・L・C を本格稼働させています。それらの設備投資もあり、<b>教育研究経費比率の 2021 年度の実績は 29.8%</b>となり、2025 年度の目標である 32.0%に近い数値となっています。</p> <p>さて、このあとの「第三 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策」（P.57）においても述べることとなりますが、本法人では、これまで財政収支を安定させるために、様々な財務戦略を講じてきました。特に 2008 年度の本法人の経営状態は、当時の日本私立学校振興共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（2005～12 年度版）」で示すところの「B4」（教育研究活動の CF が二年連続で赤字であり、外部負債と運用財産を比較し外部比較が超過している状況）と、当時の区分では最も危機的で危ういレッドゾーンにありましたが、厳格な予算統制を行うために教学組織の理解を得て、財政基盤を安定させてきました。その結果、2013 年度には正常状態とされる「A2」（黒字幅：帰属収支差額比率 12.1%）まで回復し、<b>2021 年度においては「A3」を確保</b>しました。現在、本法人の運営は安定的に正常な状態を維持しています。</p> <p>2022 年 4 月には明浄学院高等学校が本法人の設置校に加わることで学校法人として規模が拡大し、純資産と収益基盤となる収容定員が増加します。また、2020 年 4 月に開学したびわこリハビリテーション専門職大学が年を追うごとに学生数が増加していくことから、今後の収入が拡大していくと予想しています。</p>

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

一方で、2020年から流行している新型コロナウイルス感染症等に対する学生及び教職員の感染予防のための学内整備や急速に進む教育のICT化とIoT化への投資は今後も継続して必要となります。長期的な収支バランスを見つつ、今後のキャンパスの機能再編や整備等の取り組みを行い、時代に合った教育環境を整えることで教育の質・満足度の向上に努めます。

なお、校友会組織の強化と扶助会の設立については、2025年度の目標である連携施策の実施に向けて引き続き強化を進めているところであります。

### [事業計画の進捗・達成状況]

2021年度に取り組んだ本法人の管理運営の改善及び事業は、次のとおりです。

#### ①明浄学院高等学校との協創、4キャンパス体制の確立

本法人は、学校法人明浄学院が運営する明浄学院高等学校を支援し、相互に一層の教育研究活動を発展させることを目的に、2022年4月より明浄学院高等学校は学校法人藍野大学を運営母体として設置者を変更することで合意し、2020年8月18日に支援契約を締結しました。建学の精神「明く・淨く・直く」を掲げる学校法人明浄学院の100年の歴史と伝統を受け継ぐ教育とブランド力を活かし、大阪阿倍野キャンパスで再建を図ることを前提に、人的支援・物的支援・資金的支援を継続的に行ってまいりました。

2021年度も2020年度に引き続き、教育活動や部活動等の充実と施設・設備への投資を通じて、入学定員充足率の回復と明浄学院高等学校単体として収支が均衡する状態を目指し支援を継続しました。

ちなみに、2022年4月入学生の充足率については、2021年4月入学生の43.9%から90.6%へと大きく回復しました。看護メディカルコースの新設を含む全コースのリニューアル、地道な中学校訪問や塾訪問が功を奏したことはもちろん、本法人が支援をしていることが中学生及び中学校に信用をもたらした側面が少なからずあるものと思われまます。

なお、現在、大阪阿倍野キャンパスプロジェクトに基づいて、明浄学院高等学校と藍野高等学校の統合のシンボルとなる4階建の新校舎を建設すべく準備を進めています。（2024年4月竣工予定）

その他、藍野大学短期大学部の第一看護学科、専攻科及び第二看護学科を大阪阿倍野キャンパスの新校舎に移転し、未来を拓く新たな智の拠点としてこれまでにない教育研究活動を展開していく予定で準備を進めています。（2025年4月竣工予定）

#### 新校舎（高等学校）完成予想イメージ図



#### ②新型コロナウイルス感染症と共存する新たな社会システムの構築に向けて～職域接種の実施～

本法人は、将来の医療従事者を輩出する教育機関として対面授業・臨地臨床実習の早期全面再開を目指すとともに、一日でも早い新型コロナウイルス感染症の収束に向け、また、地域自治体の医療負担の軽減を目指すべく、ワクチンの職域接種に協力しました。対象は学生・教職員や関連企業等、合わせて約1,400人におよび、7月から8月にかけて実施しました。

なお、学生及び教職員のワクチン接種には、本法人の医師免許・看護師免許を有する教員が従事し、

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

また、バックアップとして関連の藍野病院に協力していただきました。

さらに、滋賀県および滋賀県野洲市からの要請を受け、地域のワクチン接種に本法人が設置するびわこリハビリテーション専門職大学の教員群（医師）派遣し、地域の接種率向上に貢献しました。



### ③ 広報戦略

#### ア. 学校法人藍野大学の知名度向上

前年度に引き続き、学校法人藍野大学全体の知名度向上のため、主要施設等への看板設置、メディアへのプレスリリースを行いました。前年度より制作を開始した学校法人全体パンフレットについては、実際に手に取って読んでもらえる冊子を作るため、一般的なA4サイズではなく、正方形という特徴的な形にしました。変わった形なので手に取りやすく、他に埋もれない個性を“カタチ”から出すことができました。



また、7月～8月にかけて大阪茨木キャンパスにおいて実施した、本法人在学生・教職員・その他関連企業の方対象の新型コロナワクチン職域接種(大学拠点接種)に関するPR動画を作成し、本法人公式YouTubeにおいて配信しました。将来の医療従事者を輩出する教育機関として、地域自治体の医療負担の軽減と安心・安全な学校づくりに向けた取り組みの様子を、外部に向け広く発信することができました。



#### イ. びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上

びわこリハビリテーション専門職大学の知名度向上のため、前年度に引き続きWEB広告を実施しました。前年度の効果検証結果を踏まえ、前年度、コンバージョン率（資料請求、オープンキャンパス申し込み及び入試への出願ページへの到達率）の高かったGoogle及びYahoo!リスティングに広告の種類を絞り、オープンキャンパス開催日・入試出願期間等の訴求を行った。その結果、2021年度は、びわこリハビリテーション専門職大学のホームページにおける「オープンキャンパスページへ遷移するボタンクリック数」が219件増加、「出願申込ページへ遷移するボタンクリック数」が150件増加しました。

#### 2021年度 広報活動

パンフレット	学校法人全体パンフレット 広報誌アイノテ デジタルパンフレット変換システム (e-book5)
プレスリリース	大学プレスセンター
新聞	日本私立大学協会教育學術新聞（新年名刺交換広告、入学要項連合案内）
WEB 広告	リスティング広告 (Google、Yahoo!)、インストリーム広告 (YouTube)

## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

看板広告	デジタルサイネージ（JR 京都駅橋上マルチビジョン、梅田 BIGMAN 大型スクリーン） JR 駅看板（摂津富田・山科・彦根・能登川駅） JR 駅構内サインボード（南草津・近江八幡駅） 改札前ラッピング広告（大阪メトロなかもず駅） 電柱看板（羽衣学園高等学校、樟蔭高等学校付近） 江若交通バス広告
動画	新型コロナウイルスワクチン職域接種 PR 動画、学校法人ホームページ TOP 画面用動画
SNS	法人公式 YouTube、LINE

### ④ Faculty Development (FD)・Staff Development (SD) 活動について

2021 年度に行った FD・SD 活動は次のとおりです。

名称	開催日時	場所	対象	内容	講師	参加人数
FD・SD 研修	12月23日	藍野大学 藍野ホール	全教職員	内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制の構築に係る研修会① ・教学マネジメントの意義と体制 ・医療系大学に求められる教学マネジメント	中井俊樹（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 教授） 竹中喜一（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 講師）	204
FD・SD 研修	2月28日	オンライン	全教職員	内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制の構築に係る研修会② ・教学マネジメントと IR の活用	竹中喜一（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 講師）	191
FD・SD 研修	3月23日	オンライン	全教職員	内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制の構築に係る研修会② ・教学マネジメントの確立に向けて	阿部光伸（愛媛大学教育・学生支援機構 教育企画室 講師）	100

12月23日から3月23日にかけて、本法人では、自らの責任で大学の諸活動についての点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、そのことを通じて、大学の質を自ら保証することのできる内部質保証の実質化に向けた教学マネジメント推進体制構築活動の一環として、教学マネジメント推進体制の構築に向けた FD・SD 研修を実施しました。

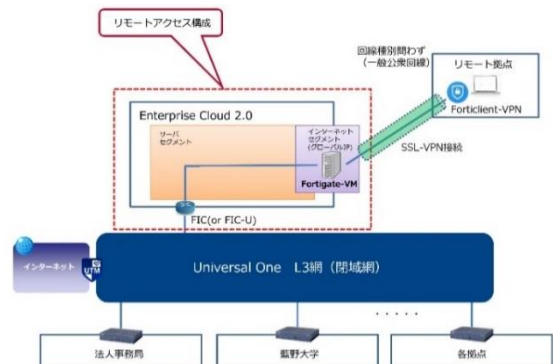
研修は、教職員が教学マネジメント体制の構築、教学マネジメントの重要性を再認識し、内部質保証の仕組みを実効性あるものにしていく必要性について理解を深めることを目的としました。

また、教学マネジメントの大学教育政策における大きな流れや構造、その意義と体制などについて理解を深める内容とし、さらに医療系大学である本法人は、どのような教学マネジメントが求められ構築していくべきか、教職員の探求心・追求心を喚起するものとなりました。

### ⑤ 情報インフラネットワークの発展的な利用

#### ア. ウィズコロナ、アフターコロナ時代に求められるリモート環境の構築

テレワークをする個人PCからFortiClient-VPNを利用してFortiGateを介して本法人ネットワークに接続し、各部署のNASやUNO直結クラウドサーバーECL2.0に格納されているキャンパスプランや各種ファイルサーバにセキュアに接続を可能としました。新型コロナウイルス感染症対策だけに限らず、育児や介護時に自宅での業務や、急な出勤困難時にカフェや公共の場などからも業務を可





## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

能とし、通勤時間、残業時間の削減を行いながら多様な働き方を可能としました。

### イ. コミュニケーションツール Slack の導入

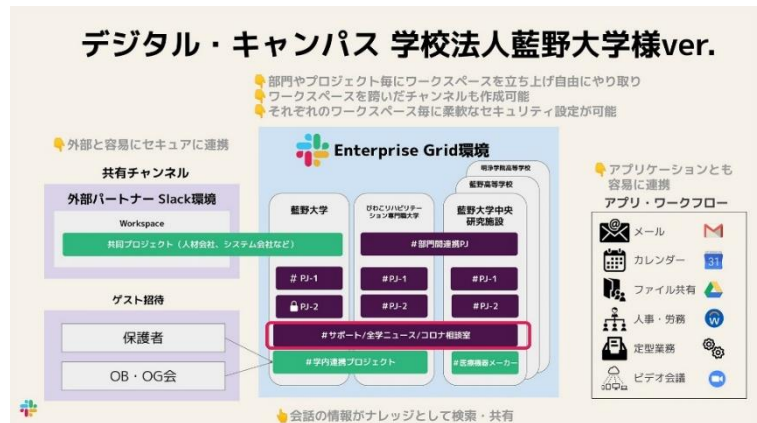
学生、教員、職員を繋ぐコミュニケーションツール Slack を導入しました。Slack は教育やコミュニケーションの質向上が可能なツールでありながら、乱立したシステムを繋ぐコラボレーションハブツールであり、Slack 内ですべての業務を完結させるのが目的です。2022 年度より全学的に本格運用開始となります。

教員や学生は Slack 上で講義や研究など学びをサポートし、共有・議論し、学びを深め、学部、学科、設置校にとらわれず、コミュニケーションを行うことが可能となります。

Slack へセキュアなログインを可能とするためにグルージェントゲートによるシングルサインオン（SSO）を構築し、一度の認証で各システムにできる仕組みを構築しました。SSO 導入に伴い、同時に全学的に Google Workspace for Education を使用可能としました。gmail や Google カレンダー、クラウドストレージの Google Drive が Slack 上で使用可能となり、今後 manaba（LMS）やサイボウズガルーンなど本法人で利用しているシステムと順次連携していく予定です。

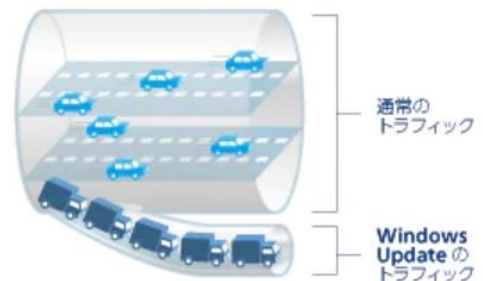
Slack 導入により、教職員のメール時間の削減、メールの内容検索時間の削減、物理的な会議時間の削減や、窓口対応、各業務等に関する質問など対応時間の削減ができ、残業代の抑制、ライフバランスの向上が期待できます。

その他、Slack による無料通話や、画面共有を利用すれば、内線電話の時間や電話機自体の台数削減も可能となり、又、同じ機能を持つレガシーツール、レガシーシステムの削減も可能となります。教職員の時間を節約し、学生、教職員のコミュニケーションを改善、生産性の向上が期待できます。



### ウ. ネットワーク通信回線遅延対策

Windows Update 時にアクセスが集中し、トラフィック増によるインターネット回線が混雑し、回線速度が著しく低下する輻輳の対策を行いました。一般通信と Windows Update のトラフィックを完全に分離し、休日明けなどに起こる、各 PC の一斉 Windows Update 時に、通常の業務への影響を最小限に抑えて更なる回線の安定を確保しました。



### ⑥ファシリティ・マネジメント

2021 年度に改修を予定していた藍野大学短期大学部第一看護学科の高圧受電設備については、諸般の事情により実施することができませんでしたが、準備ができ次第、2022 年度中に実施する予定であります。



## 第二 事業の概要（事業計画等の進捗達成状況）

⑦フードパントリーで学生・生徒の支援及び食品ロスの削減を推進（学校法人藍野大学「愛のフードバンク」を開設）

食品ロスの削減をめぐるのは、2019年5月に食品ロス削減推進法が制定され、同年10月より施行されました。その前文において、「世界には食料不足に直面する人が存在する中で、多くの食料を輸入している国として食品ロス削減に真摯に取り組む」と宣言されています。

このような国の動きとSDGsも踏まえこれまで学生に食品ロス削減の啓発活動を実施してきましたが、2021年11月より本法人は、大学ではめずらしい「フードバンク」を設置し、賞味期限が近づいた食品や季節商品など通常の流通ルートでの販売が困難な商品を企業から寄贈いただいたり、家庭の未利用食品をフードドライブ活動を通じて教職員から支援を受け、必要としている学生・生徒にその食品を無償提供（フードパントリー）することで食品ロスの削減に取り組んでいます。

また、本法人は2022年2月10日に大阪府と協力して食品ロスの削減を推進することで、教育機関として初めて、おおさか食品ロス削減パートナーシップ事業者に決定されました。



# 第三 財務の概要

## 第三 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### (1) 貸借対照表関係

##### ①貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

年 度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
固定資産	11,329,472	11,669,692	14,068,843	15,611,784	14,153,156
流動資産	3,787,979	5,068,516	3,564,855	2,742,459	4,180,396
資産の部合計	15,117,451	16,738,208	17,633,698	18,354,243	18,333,552
固定負債	1,035,300	2,425,530	2,909,812	3,689,843	2,368,095
流動負債	2,660,779	2,570,011	3,018,400	3,066,915	4,160,748
負債の部合計	3,696,079	4,995,542	5,928,212	6,756,758	6,528,843
基本金	16,249,214	16,245,503	16,014,947	16,770,087	17,113,577
繰越収支差額	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	△5,172,602	△5,308,867
純資産の部合計	11,421,371	11,742,666	11,705,485	11,597,485	11,804,709
負債及び純資産の部合計	15,117,451	16,738,208	17,633,698	18,354,243	18,333,552

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

##### ②財務比率の経年比較

比率名	算式	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	全国平均
運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	0.7 年	0.7 年	0.04 年	-0.3 年	-0.1 年	0.87 年
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	142.4%	197.2%	118.1%	89.4%	100.5%	223.9%
総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	24.4%	29.8%	33.6%	36.8%	35.6%	19.1%
前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	159.2%	224.4%	155.2%	108.8%	107.5%	323.6%
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	94.8%	95.4%	85.0%	86.6%	88.3%	94.2%
積立率	$\frac{\text{運用資産額}}{\text{要積立額}}$	60.3%	87.1%	69.0%	53.2%	55.4%	81.7%

※財務比率につきましては、原則、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。

※全国平均は令和3年度版「今日の私学財政」における「令和2年度財務比率表（大学法人（保健系学部）」）によります。

#### (2) 資金収支計算書関係

##### ①資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
学生生徒等納付金収入	3,092,851	3,010,921	2,904,022	3,004,509	3,254,038
手数料収入	58,616	56,760	61,101	64,129	65,211
寄付金収入	5,578	2,565	6,063	9,088	58,575
補助金収入	376,986	422,620	425,060	572,091	606,327
資産売却収入	6,595	0	0	6,121	0
付随事業・収益事業収入	84,345	86,263	81,605	68,566	87,911
受取利息・配当金収入	2,456	78	52	1,682	1,989
雑収入	77,997	118,145	102,873	64,848	85,707
借入金等収入	700,000	1,552,000	348,000	1,000,000	0

# 第三 財務の概要

前受金収入	2,352,094	2,240,868	2,260,035	2,484,611	2,629,937
その他の収入	8,076	35,901	49,503	29,540	31,021
資金収入調整勘定	△2,440,041	△2,359,252	△2,265,155	△2,269,548	△2,505,695
前年度繰越支払資金	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003
収入の部合計	7,195,599	8,911,070	9,000,919	8,543,187	7,019,029
支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	1,922,451	1,857,632	1,887,411	2,141,229	2,264,257
教育研究経費支出	696,468	691,063	813,617	823,181	850,872
管理経費支出	478,464	464,633	524,364	463,976	386,591
借入金等利息支出	10,299	7,285	11,466	14,010	17,213
借入金等返済支出	226,000	197,875	183,325	144,996	218,646
施設関係支出	25,534	595,851	2,076,116	239,670	16,159
設備関係支出	62,476	99,686	508,744	261,283	60,851
資産運用支出	20,000	0	200,000	200,000	200,000
その他の支出	98,367	83,535	109,326	1,841,493	293,911
資金支出調整勘定	△88,660	△114,251	△820,998	△290,656	△117,434
翌年度繰越支払資金	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003	2,827,960
支出の部合計	7,195,599	8,911,070	9,000,919	8,543,187	7,019,029

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

## ②活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	3,696,374	3,697,276	3,565,087	3,783,233	4,157,771
教育活動資金支出計	3,097,384	3,013,330	3,225,393	3,428,387	3,501,721
差引	598,990	683,946	339,693	354,845	656,049
調整勘定等	△75,587	△99,143	359,085	△104,285	114,084
教育活動資金収支差額	523,402	584,802	698,779	250,560	770,134
施設設備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	1,051	0	15,638	6,121	0
施設整備等活動資金支出計	88,010	695,538	2,784,860	700,954	227,010
差引	△86,959	△695,538	△2,769,222	△694,833	△277,010
調整勘定等	△226	27,560	372,158	106,801	△156,897
施設設備等活動資金収支差額	△87,185	△667,977	△2,397,064	△588,031	△433,907
小計（教育活動資金収支差額+施設設備等活動資金収支差額）	436,217	△83,174	△1,698,284	△337,471	336,226
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	709,038	1,576,335	388,536	1,004,247	24,185
その他の活動資金支出計	271,102	209,600	210,463	1,470,385	236,651
差引	437,936	1,366,734	178,073	△466,138	△212,466
調整勘定等	0	0	0	66	197
その他の活動資金収支差額	437,936	1,366,734	178,073	△466,071	△212,269
支払資金の増減額（小計+その他の活動資金収支差額）	874,153	1,283,560	△1,520,211	△803,543	123,956
前年度繰越支払資金	2,870,044	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003
翌年度繰越支払資金	3,744,197	5,027,758	3,507,546	2,704,003	2,827,960

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

# 第三 財務の概要

## ③財務比率の経年比較

### 教育活動資金収支差額比率

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	全国平均
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	14.2%	15.8%	19.6%	6.6%	18.5%	11.8%

※財務比率につきましては、原則、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。

※全国平均は令和3年度版「今日の私学財政」における「令和2年度財務比率表（大学法人（保健系学部）」）によります。

## (3) 事業活動収支計算書関係

### ①事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

教育活動収支	事業活動収入の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		学生生徒等納付金	3,092,851	3,010,921	2,904,022	3,004,509	3,254,038
		手数料	58,616	56,760	61,101	64,129	65,211
		寄付金	5,578	2,565	10,264	11,491	59,416
		経常費等補助金	376,986	422,620	409,422	572,091	606,327
		付随事業収入	84,345	86,263	81,605	68,566	87,911
		雑収入	79,792	119,820	104,364	66,941	87,944
		教育活動収入計	3,698,169	3,698,951	3,570,780	3,787,728	4,160,850

教育活動収支	事業活動支出の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		人件費	1,922,451	1,857,632	1,888,911	2,143,429	2,264,857
		教育研究経費	987,201	983,525	1,036,149	1,206,174	1,240,508
		管理経費	522,483	511,350	566,211	504,044	423,289
		徴収不能額等	800	0	0	0	0
		教育活動支出計	3,432,936	3,352,508	3,491,272	3,853,648	3,928,655
教育活動収支差額			265,233	346,442	79,507	△65,919	232,195

教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		受取利息・配当金	2,456	78	52	1,682	1,989
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	2,456	78	52	1,682	1,989
教育活動外収支	事業活動支出の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		借入金等利息	10,299	7,285	11,466	14,010	17,213
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	10,299	7,285	11,466	14,010	17,213
教育活動外収支差額			△7,843	△7,207	△11,413	△12,327	△15,223
経常収支差額			257,389	339,235	68,093	△78,246	216,971

特別収支	事業活動収入の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		資産売却差額	0	0	0	3,465	0
		その他の特別収入	0	0	15,638	31,298	8,334
		特別収入計	0	0	15,638	34,763	8,334
特別収支	事業活動支出の部	科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
		資産処分差額	80	17,940	120,912	64,517	18,082
		その他の特別支出	0	0	0	0	
		特別支出計	80	17,940	120,912	64,517	18,082
特別収支差額			△80	△17,940	△105,274	△29,753	△9,747

# 第三 財務の概要

予備費					
基本金組入前当年度収支差額	257,309	321,294	△37,180	△108,000	207,224
基本金組入額合計	△312,418	0	△200,000	△755,139	△343,489
当年度収支差額	△55,108	321,294	△237,180	△863,140	△136,265
前年度繰越収支差額	△4,772,734	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	△5,172,602
基本金取崩額	—	3,711	430,555	—	—
翌年度繰越収支差額	△4,827,843	△4,502,836	△4,309,462	△5,172,602	△5,308,867

(参考)	事業活動収入計	3,700,625	3,699,029	3,586,470	3,824,175	4,171,175
	事業活動支出計	3,443,316	3,377,734	3,623,651	3,932,176	3,963,950

※単位表示は、千円未満切り捨てのため、合計等が一致しない場合があります。

## ②財務比率の経年比較

比率名	算式	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	全国平均
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	51.9%	50.2%	52.9%	56.6%	54.4%	52.9%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	26.7%	26.6%	29.0%	31.8%	29.8%	35.4%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	14.1%	13.8%	15.9%	13.3%	10.2%	10.0%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	7.0%	8.7%	-1.0%	-2.8%	5.0%	3.0%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.6%	81.4%	81.3%	79.3%	78.2%	52.5%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	7.0%	9.2%	1.9%	-2.1%	5.2%	1.4%

※財務比率につきましては、原則、小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで記入しています。

※全国平均は令和3年度版「今日の私学財政」における「令和2年度財務比率表（大学法人（保健系学部）」によります。

## 2. その他

### (1) 有価証券の状況

区分	銘柄	数量	帳簿価額	時価	表示科目
株式	(株) 藍野大学事業部	400口	20,000千円	—	有価証券
	計	400口	20,000千円		

※非上場株式であり、市場価額はありません。

### (2) 借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	担保等
日本私立学校振興・共済事業団	1,826,350	0.01% 0.50% 0.50%	2026年3月17日 2038年9月15日 2039年9月15日	土地・建物 土地・建物 土地・建物
りそな銀行	560,008	0.32545%	2030年3月29日	土地・建物
関西みらい銀行	1,000,000	0.67545%	2022年4月30日	土地・建物
合計	3,386,358	—	—	—

### (3) 学校債の状況

本法人は、学校債の発行はしていません。

### (4) 寄付金の状況

本法人は租税特別措置法施行令第26条の28の2第1項第2号に規定する要件を満たす法人として、卒業生や保護者、教職員、民間団体・企業などを対象とし、本法人が設置する学校の校舎増改築および



## 第三 財務の概要

設備充実事業その他教育活動の充実のために必要な経常経費に充当することを目的に寄付金募集を行っています。

2021年度 寄付金募集状況 (単位：千円)

対象	種類	件数	金額
4月～3月	一般寄付金収入	7件	742

### (5) 補助金の状況

2021年度における補助金交付額は606,328千円となりました。内訳は以下のとおりです。

(単位：千円)

補助金名称	対象校	交付額
私立大学等経常費補助金	大学・短期大学部	199,119
令和3年度大学改革推進等補助金	大学	9,937
授業料等減免費交付金	大学・専門職大学・短期大学部	153,846
大阪府私立高等学校等経常費補助金	高等学校	187,721
大阪府他高等学校等授業料支援補助金	高等学校	51,589
私立学校等情報機器整備費補助金	高等学校	1,500
大阪府私立高等学校等就学支援金事務費他	高等学校	2,615
合計		606,328

### (6) 収益事業の状況

該当事項はありません。

### (7) 関連当事者等との取引の状況

#### ① 関連当事者

(単位：千円)

属性	役員、法人等の名称	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
					役員の兼任等	事業上の関係				
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している法人	医療法人恒昭会(茨木市高田町)	-	病院	-	兼任2人	実習施設	健康診断委託等	35,720	-	
							実習費	2,197	-	
						賃貸契約	賃貸収入	35,312	前受金	228

#### ② 出資会社

(単位：千円)

会社の名称	事業内容	資本金等	出資割合		取引の内容	役員の兼任・報酬の有無等
			学校法人	その他		
株式会社 藍野大学事業部	<ul style="list-style-type: none"> <li>書籍販売、各種物品販売業務</li> <li>施設設備のメンテナンス業務</li> <li>人材派遣業務</li> <li>学生食堂・コンビニ経営</li> <li>運用SE業務</li> </ul>	20,000	20,000 (100%)	0 (0%)	書籍、各種物品販売、施設設備のメンテナンス、人材派遣、学生食堂、コンビニ経営等を行い、教育研究活動の満足度向上に貢献している	兼任3人 報酬無し

### (8) 学校法人間財務取引

(単位：千円)

学校法人名	住所	取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高	関連当事者
学校法人明浄学院	大阪府泉南郡	資金の貸付	1,300,000	短期貸付金	1,300,000	兼任1名

## 第三 財務の概要

### 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本法人では、これまで財政収支を安定させるために、様々な財務戦略を講じてまいりました。特に、12年前の2008年度の本法人の経営状態は、当時の日本私立学校振興・共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」（2005年～2012年度版）で示すところの「B4」（教育研究活動のCFが2年連続で赤字であり、外部負債と運用財産を比較し外部負債が超過している状況）であり、当時の区分では最も危機的で危ういレッドゾーンにありましたが、厳格な予算統制を支えるために教学組織の理解を得て、財政基盤を安定させてきました。具体的には中期事業計画に基づく中期財務計画を、期中において月次資金収支計画の予実管理をもとにセグメント別月次資金収支計画・セグメント別月次事業活動収支計画等の情報に纏め、執行部の構成員がメンバーとなる合同運営委員会で示し、法人事務局経営企画センター・IR 経営企画グループの職員が予算執行状況を教学組織に説明することで、厳格な予算統制を確立してきました。

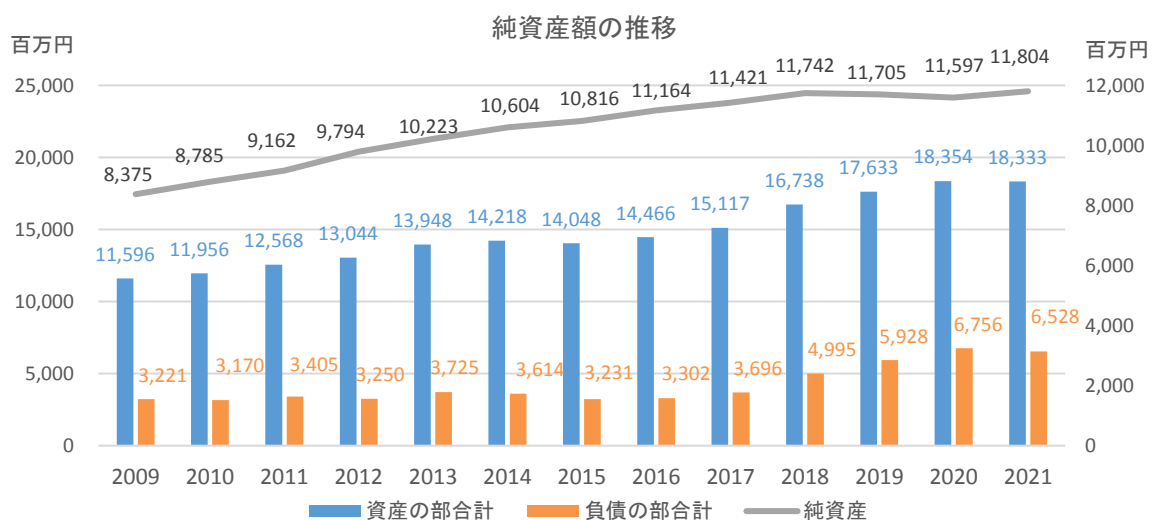
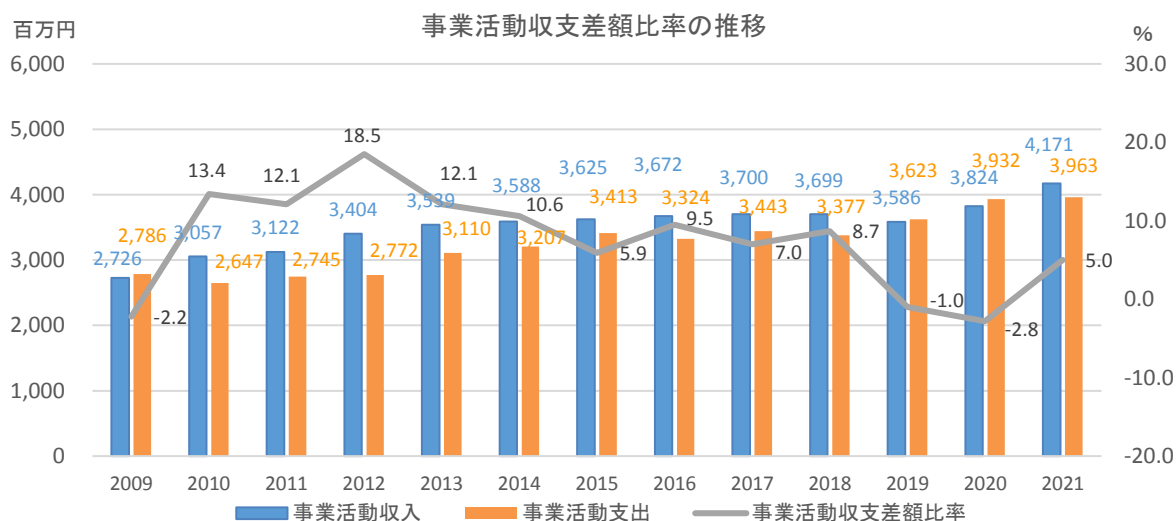
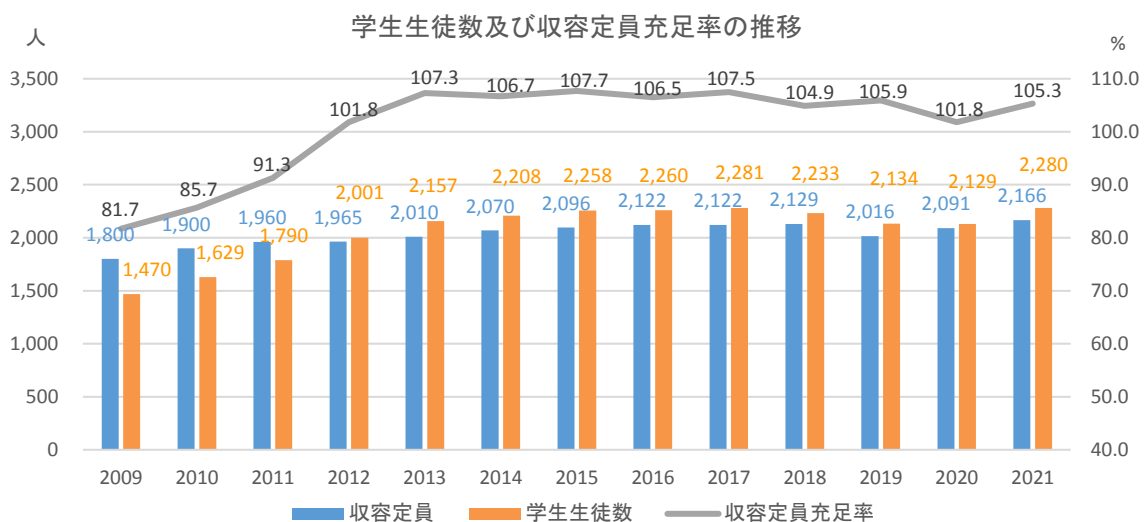
この取り組みにより、2013年度には正常状態とされる「A2」（黒字幅：帰属収支差額比率12.1%）まで回復し、2021年度においては「A3」を確保し、現在、本法人の運営は安定的に正常な状態を維持しています。

さて、2009年度決算と2021年度決算を対比すると、事業活動収入（2014年度までは帰属収入）が27億2,689万円から14億4,428万円（52.96%）増の41億7,117万円となっています。事業活動収入と事業活動支出の差額である事業活動収支差額も2006年度の△4億700万円が低値で、2009年度までマイナスの状態でしたが、経営改善計画の適正履行と種々の改革を断行し、2010年度は4億1,000万円のプラス収支（黒字経営）に改善し、以後、2018年度までプラス収支（黒字経営）の状態を継続してきました。2019年度においては特別支出（資産処分差額）を1億2,091万円計上したことにより△3,718万円、2020年度においてはM・L・Cへの設備投資や、藍野大学の看護学科及び理学療法学科の収容定員増加の学年進行に伴う教員採用並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴う教員採用等による人件費の増加もあり、△1億800万円となっておりますが、2021年度は2億722万円へと回復しました。今後については、2022年4月より明浄学院高等学校が本法人の設置校に加わることで、収容定員を増加させた藍野大学の看護学科及び理学療法学科の学年進行並びにびわこリハビリテーション専門職大学の学年進行に伴い学生生徒等納付金の増加が見込まれることから、収入が拡大していくことが予想されます。

なお、貸借対照表上の純資産額については、2009年度83億7,527万円から2021年度118億470万円へと、この13年間で34億2,943万円増加させることができています。

本法人は、今後とも、認証評価の結果を踏まえて中期的な計画及び事業計画を作成し、それを適正履行するなかで、さらなる財政収支の安定を目指してまいります。

# 第三 財務の概要





## 藍野大学

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-4



## びわこリハビリテーション 専門職大学

〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967



## 藍野大学短期大学部

〒567-0018 大阪府茨木市太田3-9-25 (大阪茨木キャンパス)

〒584-0076 大阪府富田林市青葉丘11-1 (大阪富田林キャンパス)



## 藍野高等学校

〒567-0012 大阪府茨木市東太田4-5-11



## 明浄学院高等学校

(支援契約締結校)

〒545-0004 大阪市阿倍野区文の里3-15-7

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22



学校法人 藍野大学

EDUCATIONAL FOUNDATION AINO UNIVERSITY